ファッション流通科

科目名	服飾造形基礎1（理論含む）	担当	祖父江佳子・志水智絵		
科目分類	必修／演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	4単位 （104時間）

授業概要と到達目標
基本パターンをもとにセミタイトスカートのパターンメーキングと縫製の実習を行う。衣服の構造を理解し、パターンの展開方法と縫製技術の基礎を身に付ける。
時間外に必要な学修
準備学習として各アイテムに使用する素材（布、付属）の準備や地直しなどをしておくこと。
実務経験を生かした教育内容
アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	ミシン工学①　導入説明、アイロンのかけ方、道具の扱いについて
第2回	ミシン工学②　ミシン工学、基礎縫いの準備
第3回	基礎縫い（手縫い）①　基礎縫い課題作成
第4回	基礎縫い（手縫い）②　基礎縫い課題作成
第5回	基礎縫い（手縫い）③　基礎縫い課題作成
第6回	基礎縫い（手縫い）④　基礎縫い課題作成
第7回	ミシン工学③　直線縫いミシン、ロックミシン講義
第8回	ミシン工学④　直線縫いミシン、ロックミシン講義
第9回	ミシン工学⑤　直線縫いミシン、ロックミシン課題作成
第10回	ミシン工学⑥　直線縫いミシン、ロックミシン課題作成
第11回	採寸　計測項目と方法について
第12回	セミタイトスカート①　デザイン出し
第13回	セミタイトスカート②　生地、糸と針について
第14回	セミタイトスカート③　有型トレース
第15回	セミタイトスカート④　ファーストパターンデザインのせ
第16回	セミタイトスカート⑤　ファーストパターン完成、チェック
第17回	セミタイトスカート⑥　地直し説明
第18回	セミタイトスカート⑦　地直し
第19回	セミタイトスカート⑧　仮縫い、地直しトワルにトレース
第20回	セミタイトスカート⑨　仮縫い、トワルに縫い代つけ
第21回	セミタイトスカート⑩　仮縫い（手縫い）
第22回	セミタイトスカート⑪　仮縫い（手縫い）
第23回	セミタイトスカート⑫　仮縫い（手縫い）

授業内容	
第24回	セミタイトスカート⑬　仮縫い（手縫い）
第25回	セミタイトスカート⑭　仮縫い、修正
第26回	セミタイトスカート⑮　仮縫い、修正
第27回	セミタイトスカート⑯　工業用パターン
第28回	セミタイトスカート⑰　工業用パターン
第29回	セミタイトスカート⑱　工業用パターン
第30回	セミタイトスカート⑲　工業用パターン
第31回	セミタイトスカート⑳　工業用パターンカット
第32回	セミタイトスカート㉑　接着芯について
第33回	セミタイトスカート㉒　裁断、芯貼り
第34回	セミタイトスカート㉓　裁断、芯貼り
第35回	セミタイトスカート㉔　裁断、芯貼り
第36回	セミタイトスカート㉕　裁断、芯貼り
第37回	セミタイトスカート㉖　ダーツ切り躾
第38回	セミタイトスカート㉗　ロック
第39回	セミタイトスカート㉘　ダーツ縫い
第40回	セミタイトスカート㉙　後中心縫い
第41回	セミタイトスカート㉚　裏地にファスナーつけ
第42回	セミタイトスカート㉛　裏地にファスナーつけ
第43回	セミタイトスカート㉜　表地にファスナーつけ
第44回	セミタイトスカート㉝　表地にファスナーつけ
第45回	セミタイトスカート㉞　脇縫い
第46回	セミタイトスカート㉟　脇縫い
第47回	セミタイトスカート㊱　ベルト付け
第48回	セミタイトスカート㊲　ベルト付け
第49回	セミタイトスカート㊳　落としミシン
第50回	セミタイトスカート㊴　表地、裏地の裾始末
第51回	セミタイトスカート㊵　まとめ、完成
第52回	セミタイトスカート㊶　縫製仕様書

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	服飾造形基礎3（理論含む）	担当	祖父江佳子・志水智絵		
科目分類	必修／演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

基本パターンをもとにシャツブラウスのパターンメーキングと縫製の実習を行う。衣服の構造を理解し、パターンの展開方法と縫製技術の基礎を身に付ける。

時間外に必要な学修

準備学習として各アイテムに使用する素材（布、付属）の準備や地直しなどをしておくこと。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	シャツブラウス① サイズ確認、有型トレース
第2回	シャツブラウス② ファーストパターン作成
第3回	シャツブラウス③ 工業用パターン作成
第4回	シャツブラウス④ 工業用パターン作成
第5回	シャツブラウス⑤ 工業用パターン作成
第6回	シャツブラウス⑥ 工業用パターン作成
第7回	シャツブラウス⑦ 工業用パターンカット
第8回	シャツブラウス⑧ 裁断、芯貼り
第9回	シャツブラウス⑨ 裁断、芯貼り
第10回	シャツブラウス⑩ 裁断、芯貼り
第11回	シャツブラウス⑪ 短冊縫い(説明)
第12回	シャツブラウス⑫ 短冊縫い
第13回	シャツブラウス⑬ 短冊縫い
第14回	シャツブラウス⑭ ポケット
第15回	シャツブラウス⑮ 前後ヨーク付け
第16回	シャツブラウス⑯ 袖付け
第17回	シャツブラウス⑰ 袖下から脇縫い
第18回	シャツブラウス⑱ 裾三つ巻き
第19回	シャツブラウス⑲ 持ち出し
第20回	シャツブラウス⑳ 前立て
第21回	シャツブラウス㉑ 衿作り
第22回	シャツブラウス㉒ 衿作り
第23回	シャツブラウス㉓ 衿付け
第24回	シャツブラウス㉔ カフス作り
第25回	シャツブラウス㉕ カフス付け
第26回	シャツブラウス㉖ ボタン位置印付け

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率 30% 課題・レポート 70%	

ファッション流通科

科目名	服飾造形基礎2（理論含む）	担当	祖父江佳子・志水智絵		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
基本パターンをもとにディティールデザインのパターンメーキングと縫製の実習を行う。衣服の構造を理解し、パターンの展開方法と縫製技術の基礎を身に付ける。
時間外に必要な学修
準備学習として各アイテムに使用する素材（布、付属）の準備や地直しなどをしておくこと。
実務経験を生かした教育内容
アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	ディティールソーイング①　工業用パターン作成、カット
第2回	ディティールソーイング②　裁断、芯貼り
第3回	ディティールソーイング③　裁断、芯貼り
第4回	ディティールソーイング④　コンシールファスナー付け
第5回	ディティールソーイング⑤　コンシールファスナー付け
第6回	ディティールソーイング⑥　コンシールファスナー付け
第7回	ディティールソーイング⑦　見返し
第8回	ディティールソーイング⑧　見返し
第9回	ディティールソーイング⑨　見返し
第10回	ディティールソーイング⑩　パイピング始末
第11回	ディティールソーイング⑪　パイピング始末
第12回	カットソー講座①　カットソー縫製講義
第13回	カットソー講座②　カットソー縫製講義

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	服飾造形基礎4（理論含む）	担当	祖父江佳子・志水智絵		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

基本パターンをもとにパンツのパターンメーキングと縫製の実習を行う。衣服の構造を理解し、パターンの展開方法と縫製技術の基礎を身に付ける。

時間外に必要な学修

準備学習として各アイテムに使用する素材（布、付属）の準備や地直しなどをしておくこと。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	パンツ①　サイズ確認、有型トレース
第2回	パンツ②　サイズ確認、有型トレース
第3回	パンツ③　サイズ修正
第4回	パンツ④　サイズ修正
第5回	パンツ⑤　前ポケットファーストパターン作成
第6回	パンツ⑥　後ポケットファーストパターン作成
第7回	パンツ⑦　工業用パターン
第8回	パンツ⑧　工業用パターン
第9回	パンツ⑨　工業用パターン
第10回	パンツ⑩　工業用パターン
第11回	パンツ⑪　工業用パターン
第12回	パンツ⑫　工業用パターンカット
第13回	パンツ⑬　裁断、芯貼り
第14回	パンツ⑭　裁断、芯貼り
第15回	パンツ⑮　裁断、芯貼り
第16回	パンツ⑯　ロック、ダーツ縫い
第17回	パンツ⑰　脇ポケット作り
第18回	パンツ⑱　脇ポケット作り
第19回	パンツ⑲　後ポケット作り
第20回	パンツ⑳　後ポケット作り
第21回	パンツ㉑　前ファスナ
第22回	パンツ㉒　前ファスナー
第23回	パンツ㉓　脇、股下縫い
第24回	パンツ㉔　ベルト通し作り、ベルト付け
第25回	パンツ㉕　ベルト付け
第26回	パンツ㉖　ベルト通し付け、まとめ

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	デザイン画基礎1	担当	北野淳子		
科目分類	必修／演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

デザイン画の基本的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、コンテスト参加を通して実践力を身に付ける。自分の表現したいデザインを描くための基礎的な知識、技術を習得する。

時間外に必要な学修

コンテスト参加作品については各自授業時間外での自主制作の時間を必要とする。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ハンガーイラストの描き方①　シャツ、ブラウス、スカート、パンツ
第2回	ハンガーイラストの描き方②　シャツ、ブラウス、スカート、パンツ
第3回	正面プロポーション、着装、手の演習　陰影の研究
第4回	脚、靴、帽子の研究、メンズプロポーション
第5回	YKKファスニングアワードコンテスト参加作品　水彩絵具による描き方の練習
第6回	斜め向きプロポーション、着装、早描き
第7回	ナゴヤファッションコンテスト参加作品、キッズプロポーション
第8回	ハンガーイラストの描き方③　衿、袖の描き方
第9回	ハンガーイラストの描き方④　ボトムスのディティール、構造の描き方
第10回	サイドプロポーション、着装、素材の描き方、早描き
	イメージトレーニング　”テーマ”を決めてデザインする
	（毛皮）ファーデザインコンテスト参加
第11回	デニムの描き方、袖とボトムのしわの描き
第12回	千年大賞（ユニホーム）参加作品
第13回	水彩、パステル、マーカー等各画材の基礎的なテクニックを演習

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッションデザインテクニック、プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	デザイン画基礎2	担当	北野淳子		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

デザイン画の基本的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、コンテスト参加を通して実践力を身に付ける。自分の表現したいデザインを描くための基礎的な知識、技術を習得する。

時間外に必要な学修

コンテスト参加作品については各自授業時間外での自主制作の時間を必要とする。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	キッズポーズの研究、着装
第2回	着色法（各画材の特長と研究）
第3回	正面バリエーション、着装
第4回	写真参考デザイン画の描き方
第5回	顔、いろいろな表情、ポーズ
第6回	素材の描き方、厚地、薄地、ビニール素材etc
第7回	柄の描き方①　ストライプ、水玉、花柄、千鳥格子、杉綾etc
第8回	柄の描き方②　レース、ラメ、ニット、ツィードetc
第9回	いろいろなポーズで着装、文化ファッションコンテスト参加
第10回	モード画の描き方、デフォルメプロポーション、着装、視点の変化とバランス
第11回	色々な画材による描き方と素材の描き方を研究
	パステル、クレヨン、色鉛筆、マーカー、スパッタリングetc
第12回	墨入れの色々、サインペン、筆、色鉛筆、カラー、ダーマットグラフetc
第13回	コンテスト様式で描く、画材の研究（カラーケント紙etc）
	白と黒、コントラストを意識して描く

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッションデザインテクニック、プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	テキスタイル基礎1	担当	奥村美智子		
科目分類	必修／演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	2単位 （28時間）

授業概要と到達目標

講義、演習の他、実際に素材に触れる機会を多く設け、素材への理解を深める。アパレル素材の種類、特性などの基礎知識を身に付ける。

時間外に必要な学修

各自の購入、着用している衣類について、素材や手入れの注意点などに留意する習慣をつける。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	繊維の分類①　講義-天然繊維の種類と特徴
第2回	繊維の分類②　講義-化学繊維の種類と特徴　実習-平織を織ってみる
第3回	繊維の分類③　講義-化学繊維の種類と特徴　実習-平織を織ってみる
第4回	繊維から糸へ①　講義-繊維から糸を作る　実習-平織を織ってみる
第5回	繊維から糸へ②　講義-糸の種類　実習-スピンドルによる糸紡ぎ
第6回	繊維から糸へ③　講義-糸の加工　実習-スピンドルによる糸紡ぎ
第7回	糸から布へ①　講義-布地の分類、織組織について　実習-スピンドルによる糸紡ぎ
第8回	糸から布へ②　講義-織組織と布地の名称、用途
第9回	染色について　講義-染色の基礎　実習-簡単な染色
第10回	繊維製品の取り扱い　講義-洗濯表示などの表示記号について　実習-簡単な染色
第11回	その他のアパレル素材　講義-天然皮革、人工皮革、毛皮、羽毛について 実習-簡単な染色
第12回	ニットの基礎知識①　講義-ニットの特性と品種　実習-棒針編み
第13回	ニットの基礎知識②　講義-ニットの生産工程とクレーム事例　実習-棒針編み
第14回	実習-絞り染め

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
アパレル素材論、テキスタイル辞典	出席率　20% 課題・レポート　40% 期末試験　40%	

ファッション流通科

科目名	ファッション基礎知識1	担当	稲守正一		
科目分類	必修／演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	2単位 （26時間）

授業概要と到達目標

アパレル産業にて使用されている用語や産業内の業務内容を理解するための講義と演習を行う。アパレル産業に就職するために必要な基礎知識（用語、トレンド情報の収集と分析、マーケットリサーチ技法など）を習得する。

時間外に必要な学修

事前にコレクション情報誌などに目を通す、学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして予備知識を得ておくこと。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ファッションイメージについて①　アイテム知識の学習やコーディネートによるイメージの変化について実例をみながら学習
第2回	ファッションイメージについて②　アイテム知識の学習やコーディネートによるイメージの変化について実例をみながら学習
第3回	ファッションイメージについて③ アイテムのコーディネートによるイメージのバリエーションを座敷軸で表現
第4回	ファッションイメージについて④ アイテムのコーディネートによるイメージのバリエーションを座敷軸で表現
第5回	オケージョンとスタイリングについて①　TPOに合ったコーディネートについて 冠婚葬祭等の生活場面に相応しいコーディネートを学ぶ
第6回	オケージョンとスタイリングについて②　TPOに合ったコーディネートについて 冠婚葬祭等の生活場面に相応しいコーディネートを学ぶ
第7回	コーディネートマップ制作①
第8回	コーディネートマップ制作②
第9回	コーディネートマップ発表
第10回	クラスター分類　クラスター分類と雑誌や市場のブランドとの関連性について学ぶ
第11回	クラスターマップ制作
第12回	クラスターマップ発表
第13回	ショップリサーチ　話題のショップや施設などをリサーチし、様々な角度で見聞を広める

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッションビジネス検定3級テキスト、プリント、コレクション情報誌	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科

科目名	色彩学	担当	吉田名保美		
科目分類	必修／講義	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	2単位 （26時間）

授業概要と到達目標

色の仕組みについての基礎知識、配色調和やイメージワードの意味、パーソナルカラーの特徴を習得する。ファッション業界に関係する様々なシーンで必要となる色彩の基礎知識、実践場面で活用できるスキルを目指す。

時間外に必要な学修

日常生活のなかで自然の風景色や、美術館に足を運び様々な角度から色を観察することで感性を磨くことが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

多くの資格と病院、福祉施設のインテリア色彩計画の経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	オリエンテーション　①パーソナルカラー、ベーシックカラリスト検定について ②第3章イメージ用語1.（グループワーク）
第2回	第2章CUS表色系1　①色の三属性（色相、明度、彩度）　②色調　③授業中の確認問題
第3回	第2章CUS表色系2　①色相配色　②色調配色　③授業中の配色問題
第4回	第2章CUS表色系3　①授業中の配色演習　②色の感情効果　③小テスト
第5回	第3章イメージ用語2（配色確認）　第4章パーソナルカラー ①人と色の特徴　②課題・確認問題
第6回	パーソナルカラードレープ実習①（4シーズンクイックチェック）グループワーク 学生ファッションショー説明
第7回	パーソナルカラードレープ実習②（4シーズンクイックチェック）グループワーク 学生ファッションショー打合せ
第8回	ファッションショー準備（SDGs、イメージワード、パーソナルカラーシーズン、各担当を決める）
第9回	ファッションショー（グループによる発表、評価、採点） 後期（専科パーソナルカラリスト2級）の説明
第10回	第2章4　CUS配色効果（アンダトーン）　第3章配色調和と基本的テクニック ①課題・確認問題
第11回	①授業中の配色演習　②第1章　1. 色の種類①　③ここまでの範囲復習テスト
第12回	第1章　2. 色の種類②　第2章色のしくみ（物体色、光源色、波長と色） ①授業中の確認問題
第13回	総まとめ、総復習テスト　解答解説

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
パーソナルカラリスト検定3級テキスト（ベーシックカラリスト検定）	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科

科目名	服飾文化 （服飾文化史+民族衣装）	担当	奥村美智子・酒井妙子		
科目分類	必修／講義	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	2単位 （28時間）

授業概要と到達目標

それぞれの時代の衣服について、講義、映像や画像での確認、展示見学などを通じて基礎的な知識を身に付ける。服飾の歴史の時代背景、文化、風俗を追い、服を着る目的、服の形状の変遷、流行派生の原因とその影響などを理解する。

時間外に必要な学修

映画、ドキュメンタリーなどの映像作品、舞台芸術、美術展などを積極的に鑑賞し、過去の衣服の変遷を理解する習慣をつける。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	古代　エジプト、ギリシャ、ローマ
第2回	中世　ビゼンティン帝国、ゲルマン、ロマネクス、ゴシック
第3回	近世①　ルネッサンス、イタリア、イギリス、オランダの隆盛、フランスモードの確立へ
第4回	近世②　バロック　ルイ14世時代の服飾、ロココ　貴族社会の頂点、そして革命へ
第5回	近世③　ナポレオン帝政時代、王政復古、クリノリンスタイル、バックスタイル、
第6回	アール・ヌーボー、ジャポニズム、アールデコ
第7回	現代　1950年代～2000年代　テスト前復習
第8回	民族衣装とは　コレクションに登場するデザインソースとしての民族衣装
第9回	民族衣装　腰布型　ポリネシア、タヒチ、フィジー、パプアニューギニア
第10回	民族衣装　巻垂型　インド、東南アジア、ブータン、ケニア
第11回	民族衣装　貫頭型　メキシコ、グァテマラ、モロッコ、エジプト
第12回	民族衣装　前開型　日本、中国、チベット、ブータン、トルコ
第13回	民族衣装　体形型　ヨーロッパ、北アメリカ
第14回	テスト範囲説明、ファイルチェック

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 期末試験　70%	

ファッション流通科

科目名	コンピュータ・グラフィック基礎1	担当	友村万希子・高山聡美		
科目分類	演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

Windowsの基本操作を演習で学び、同時にPhotoshop、Illustrator、PowerPointの操作を習得しながら練習作品を制作、作品のプレゼンテーションまでを行う。Windowsの基本操作とPhotoshop、Illustrator、PowerPointの基本操作を身に付ける。

時間外に必要な学修

練習作品制作については、授業外の時間にて各自テーマなどを考えてくること。

実務経験を生かした教育内容

テキスタイル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	Windowsの基本操作、フォトショップの基本操作①
	ツールの基本的な使い方を作品を紹介しながら説明
第2回	フォトショップの基本操作②
	写真のスキャナー入力、画像の加工、合成、レイアウトの仕方を学ぶ
第3回	フォトショップ応用　プロフィール作成の画像集めと画像の保存と種類を学ぶ
	フォトショップを使ってプロフィールを作る　集めた画像でコラージュを作る
第4回	プロフィールの完成　プロフィールを仕上げ、プリントアウト、データの提出とファイリング
第5回	イラストレーター の基本操作①　ツールの基本的な使い方と練習、ロゴの作り方を学ぶ
第6回	イラストレーターの基本操作②　パターン（柄）やロゴ等の作り方を学ぶ
第7回	イラストレーターの基本操作③　フォトショップで加工した写真等の配置の仕方
	イラストレーターでネームカードを作る
第8回	パターン（柄）やイラスト、写真等を効果的に使い、自身のネームカードを作る
第9回	ネームカードを完成させる　ネームカードを仕上げ、プリントアウトして完成させる
第10回	パワーポイントの基本操作①
	ページの作成、背景、文字入力、フォトショップによる画像の加工と保存の仕方
第11回	パワーポイントの基本操作②
	ページの作成、背景、文字入力、フォトショップによる画像の加工と保存の仕方
第12回	パワーポイントでプロフィールを作る　画像の挿入の仕方を学び、作品を作る
第13回	プロフィールを完成させる　アニメーションをつけて、完成させデータを提出
	作品のプレゼンテーションと講評
第14回	各自の作品をプレゼンテーションし、作品に対する意見を出し合う

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	コンピュータ・グラフィック基礎3	担当	友村万希子		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

Macの基本操作を演習で学び、同時にWindowsのIllustratorの操作習得をしながら練習作品を制作する。Macの基本操作を学び、オリジナルプリントTシャツを制作する。WindowsのIllustratorを使い、オリジナルのネットショップを開設し、シュミレーションを行う。

時間外に必要な学修

練習作品制作については、授業外の時間にて各自テーマなどを考えてくること。

実務経験を生かした教育内容

テキスタイル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	オリジナルプリントTシャツ作成①　プリントTシャツを作る工程の説明、画像を集める
第2回	オリジナルプリントTシャツ作成② フォトショップを使ってプリント図案を作り転写紙に印刷する
第3回	オリジナルプリントTシャツ完成、MAP作成　Tシャツに図案を配置してアイロンで転写。写真を撮って、TシャツMAPを作成。データを提出
第4回	オリジナルショップ制作①　ネットショップについての説明　ショップ、ブランドリサーチ
第5回	オリジナルショップ制作②　各自のショップのコンセプトを考え企画書を作成
第6回	オリジナルショップ制作③　各自のショップのロゴを作成
第7回	オリジナルショップ制作④　ネットショップ作成アプリを使用してショップ作成。ショップ設定を行う
第8回	オリジナルショップ制作⑤　ネットショップ作成アプリを使用してショップ作成。フォトショップを使用して、ショップのイメージ画像を作成
第9回	オリジナルショップ制作⑥　ネットショップ作成アプリを使用してショップ作成。自分でアイテムの写真を撮影し、フォトショップで加工
第10回	オリジナルショップ制作⑦　ネットショップ作成アプリを使用してショップ作成
第11回	オリジナルショップ制作⑧　ネットショップ作成アプリを使用してショップ作成。カテゴリー、ランキング、ニュースなどの設定
第12回	オリジナルショップ制作⑨　ネットショップ作成アプリを使用してショップ作成。完成
第13回	プレゼンテーションと講評①　各ショップのプレゼンテーションを行う
第14回	プレゼンテーションと講評②、MAP作成　オリジナルショップのMAPを作成

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	スタイリスト演習1-1	担当	大内愛深・浅野彰英・桐谷里砂		
科目分類	演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
スタイリストに必要な基本的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。スタイリストの仕事をするための必要な知識、マナー、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの基礎能力を養う。
時間外に必要な学修
コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。
実務経験を生かした教育内容
ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	スタイリストとは　スタイリストの仕事の流れと内容
第2回	媒体と仕事の流れ　スタイリストが関わる媒体とプロフェッショナルな人々
第3回	アイロンがけ　スチーマーの扱い方に関しての練習
第4回	靴の底張り　撮影時の靴の底張りの練習
第5回	カメラワーク講義①　カメラ用語、スタジオ用語を通して撮影の際の仕事の流れを学ぶ （講師：浅野彰英）
第6回	カメラワーク講義②　カメラ用語、スタジオ用語を通して撮影の際の仕事の流れを学ぶ （講師：浅野彰英）
第7回	物撮り①　置き撮りの練習
第8回	物撮り②　ハンガーかけ、トルソーでの撮影の練習
第9回	撮影現場の臨場感を学ぶ①　スタイリスト、カメラマン、ヘアメイクでの実際の撮影現場を体験
第10回	撮影現場の臨場感を学ぶ②　スタイリスト、カメラマン、ヘアメイクでの実際の撮影現場を体験
第11回	SNS撮影投稿ポイント講義　プロフィール写真撮影、フォロワー獲得について
第12回	人物撮影①　衣装を人物が着用しての撮影の練習1
第13回	人物撮影②　衣装を人物が着用しての撮影の練習2

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科

科目名	ファッション基礎知識3	担当	稲守正一		
科目分類	講義	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	2単位 （26時間）

授業概要と到達目標

ファッションビジネス能力検定3級取得の為、アパレル産業にて使用されている用語や産業内の業務内容を理解する為の講義と演習を行う。ファッションビジネス能力検定3級を取得する。アパレル産業に就職するために必要な基礎知識（用語、トレンド情報の収集と分析、マーケットリサーチ技法など）を習得する。

時間外に必要な学修

事前にコレクション情報誌などに目を通す、学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして予備知識を得ておくこと。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	第1章　ファッションビジネスの概要①　1.ファッションビジネスの定義と特性
	2.繊維ファッション産業の概要
第2回	第1章　ファッションビジネスの概要②　3.ファッションビジネスの歩み
	2.今日のファッションビジネスの動向
第3回	第2章　ファッション生活・ファッション消費①　1.消費行動とファッション表現
	2.ライフスタイルとファッション　3.お客様の購買行動
第4回	第3章　ファッション産業構造　1.アパレル産業の概要
第5回	第3章　2.ファッション小売産業とSCの概要　3.ネットビジネスの概要
第6回	第4章　ファッションマーケティング①　1.マーケティングの基礎知識
	2.消費者分類の手法（F基礎知識1-1）
第7回	第4章　ファッションマーケティング②　3.市場調査の基礎知識
第8回	第5章　ファッションマーチャンダイジング①　1.マーケティングの基礎知識
	2.商品の企画・生産・販売の流れ
第9回	第5章　ファッションマーチャンダイジング②　3.リテール品揃えの基礎知識
	4.ファッション資料の知識（F基礎知識-1）
第10回	第6章　ファッション流通　1.流通に関する基礎知識
	2.ファッションシップの仕組みと業務
第11回	第7章　ファッション産業の職種概要　1.ファッション産業の職種概要　2.求人・採用
第12回	第8章　ビジネス基礎知識①　　1.会社に関する基礎知識　2.係数の基礎知識（前編）
	第8章　ビジネス基礎知識②　2.係数の基礎知識（後編）　3.IT基礎知識
第13回	模擬試験

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファイル	出席率　70% 期末試験　30%	

ファッション流通科

科目名	ファッション基礎知識4	担当	稲守正一		
科目分類	講義	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	2単位 （26時間）

授業概要と到達目標

前半はファッションビジネス能力検定3級取得の為、後半はアパレル産業にて使用されている用語や産業内の業務内容を理解するための講義と演習を行う。ファッションビジネス能力検定3級を取得する。アパレル産業に就職するために必要な基礎知識（用語、トレンド情報の収集と分析、マーケットリサーチ技法など）を習得する。

時間外に必要な学修

事前にコレクション情報誌などに目を通す、学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして予備知識を得ておくこと。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	第1章　デザインの定義と特性　第2章　ファッションコーディネート 1.衣服の流れ（1）～（10）　2.コーディネーションの基礎知識（1）～（3）
第2回	3.ファッションスタイリング（1）～（3）　4.ファッション企業のスタイリング（1）～（3） 第3章　ファッション商品知識　1.アパレル商品知識［服種・アイテム］（1）～（2）
第3回	2.シルエット知識（1）～（3）　3.ディティールの知識　4.サイズの知識（1）～（3） 5.繊維の知識（1）～（3）
第4回	模試①
第5回	模試②
第6回	模試③
第7回	ブランド知識
第8回	ブランド研究とブランド・ショップリサーチ
第9回	マーケットリサーチ実施
第10回	マップ制作
第11回	マップ発表
第12回	トレンド情報① 世界のファッショントレンドを講義し、時代背景や今後の展開などを考察する
第13回	トレンド情報②　全体傾向、各都市のコレクション、トピック,ニュートレンド、シルエット、カラー、ファブリック

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッションビジネス検定3級テキスト、プリント、コレクション情報誌	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科

科目名	ヘア・メイク1-1	担当	酒井聖子		
科目分類	演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標
ヘアメイクのデザイン力を高めるための講義、演習を行い、作品を写真撮影してマップを制作する。ヘアメイクの基礎的な知識と技術を身に付ける。
時間外に必要な学修
授業内以外にも積極的に情報を収集し、ヘアメイクの知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。
実務経験を生かした教育内容
ヘアメイクアップアーティストの経験を活かし、実践的な実習授業を行う。

授業内容	
第1回	授業内容、目的について
第2回	ヘアメイク道具の種類と使用目的
第3回	スタイリング剤の種類と使用目的
第4回	頭部の骨格と各部の名称
第5回	色の効果と作り方
第6回	コーム、ブラシ、ピン、ゴムの使い方
第7回	ヘアアイロンの使い方
第8回	ブロッキングの方法、ヘアアレンジ
第9回	三つ編み、表編み込み、裏編み込み、フィッシュボーン
第10回	編み込みやアイロンを使ったヘアアレンジ
第11回	ホットカーラーの巻き方
第12回	ホットカーラー　タイムアップとテスト
第13回	ホットカーラーによるスタイリング
第14回	ウイッグのお手入れ方法、ドライヤーの使い方

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　70% 期末試験　30%	

ファッション流通科

科目名	ディスプレイ（パース含む）	担当	須嵜厚子		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

ディスプレイは講義と演習の基礎を学び、課題テーマから具現化していくプロセスを学ぶ。コンテストにより、意識高く課題に取り組む姿勢を身につける。SHOPディスプレイが完成するプロセスをデザインパースで表現し、実技でリアルを体験する。ディスプレイの基礎知識と技法を身につける。イメージ・デザインをパース表現し、具現化する。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的にショップリサーチなどに出かけ、商品装飾の知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

ディスプレイデコレーターとしての経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ディスプレイ概論　ディスプレイとは何？　役割と必要性
第2回	ギフトの提案　ラッピングの基礎とアレンジ
第3回	構成の基礎①　平面構成　概論と実技　服飾雑貨
第4回	構成の基礎②　三角構成　概論と実技　ファッションコーディネート
第5回	パースの基礎①　一点透視図法
第6回	パースの基礎②　一点透視図法　デザイン・着彩
第7回	フォーミングの基礎　トルソー・マネキン
第8回	VP空間DISPLAYグループ制作①　4W2H／企画
第9回	VP空間DISPLAYグループ制作②　デザイン／パース
第10回	VP空間DISPLAYグループ制作③　制作
第11回	VP空間DISPLAYグループ制作④　制作
第12回	VP空間DISPLAYグループ制作⑤　制作
第13回	VP空間DISPLAYグループ制作審査会①　プレゼンテーション
第14回	VP空間DISPLAYグループ制作審査会②　プレゼンテーション

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント等	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	リテール演習1-1	担当	早川満知子・河口清香		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
ファッション業界におけるアパレル販売職の業務や接客対応の理解と実践を、講義と演習形式で学習。アパレル販売などの対人コミュニケーションが必要な業務に就く場合に即戦力となるよう現場対応力を身に付ける。高いレベルでの接客を理解し、実践できる人材になる。

時間外に必要な学修
アパレル販売店舗やそれ以外の様々な業種の店舗での接客サービスを実際に体験する。

実務経験を生かした教育内容
アパレル企業での販売、店舗管理経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	ボディの着せ方
	季節やシーンにふさわしいトータルコーディネートでボディへの着せつけを演習①
	ボディのコーディネートについてセールストークを発表
第2回	ショップレイアウト「秋～冬」①
第3回	ショップレイアウト「秋～冬」②
第4回	店頭におけるフォールデッド、ハンギング、服飾雑貨などのPPの陳列手法を演習①
	各種ライザーや陳列什器の効果的な使い方を演習、SNS投稿練習「クリスマス」
第5回	店頭におけるフォールデッド、ハンギング、服飾雑貨などのPPの陳列手法を演習②
	各種ライザーや陳列什器の効果的な使い方を演習、SNS投稿練習「クリスマス」
第6回	接客ロールプレイング説明「入店からお買い上げまで」
第7回	接客ロールプレイング「入店から第一アプローチ」
第8回	接客ロールプレイング説明「第一アプローチ～試着」
第9回	接客ロールプレイング説明「試着～お買い上決定」①
第10回	接客ロールプレイング説明「試着～お買い上決定」②
第11回	接客ロールプレイング説明「試着～お買い上決定」③
第12回	接客ロールプレイング説明「試着～お買い上決定」④
第13回	接客ロールプレイング「お会計～お見送り」

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッション販売検定3級テキスト	出席率 70% 期末試験 30%	

ファッション流通科

科目名	ファッションビジネス演習1-1	担当	早川満知子・河口清香		
科目分類	演習	開講時期	1年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
基礎的なファッションビジネスシーンに対応できる立ち居振る舞い、身だしなみ、言葉遣いなどを理解し、実践できるように講義、演習を行う。ビジネスシーンでのTPOに合わせたコーディネートや身だしなみを体現でき、敬語や謙譲語を使い分けたビジネスシーンにふさわしい話し方ができる人物となる。
時間外に必要な学修
市場、小売り店舗をよく観察し、ファッション流通の現状を把握しておくこと。
実務経験を生かした教育内容
アパレル企業での販売、店舗管理経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	リテール実習室の使い方、自己紹介　リテール実習室の使い方説明
第2回	ビジネスシーンでの身だしなみ、ビジネスシーンでの自己紹介の仕方
第3回	敬語の使い方、ファッションビジネスで使用する漢字
第4回	ファッション小売業の業種・業態、店舗立地と商圏、情報収集のしかた
第5回	ファッションと季節の関係
第6回	ファッションビジネスで使用頻度の高いアパレル用語の学習①
第7回	ファッションビジネスで使用頻度の高いアパレル用語の学習②
第8回	服飾雑貨の用語の学習
第9回	スカーフ、ネクタイの結び方　スカーフ、ネクタイ、リボンの結び方を習得
第10回	商品の扱い方、たたみ、ハンギング①
第11回	商品の扱い方、たたみ、ハンギング①
第12回	ボディの着せつけとポージング
第13回	ボディのコーディネート発表

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッション販売検定3級テキスト	出席率　70% 期末試験　30%	

ファッション流通科

科目名	ファッションビジネス演習1-2	担当	早川満知子・祖父江佳子・外部講師		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

オフィシャル・ソーシャルなシーンでの服装や身だしなみの理解とブロンズライセンスの受験。ビジネスシーンや社会における基本的な法律などの外部講師による講義。外部企業人事経験者による就職試験対応のディスカッションなどの演習。ブロンズライセンス合格。働く上での必要な法律や社会制度の理解。ビジネスシーンでの外部企業とのコミュニケーション力の向上。

時間外に必要な学修

ファッションビジネス界の情報収集、就労に伴う問題点の理解。対人コミュニケーション力の研鑽。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、店舗管理経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	フォーマル検定①
第2回	フォーマル検定②
第3回	フォーマル検定③
第4回	労働法セミナー　識者を招いて労働法に関する知識を学ぶ
第5回	ドメスティックバイオレンスセミナー
第6回	SDG’sについての学習①映画「トゥルーコスト」鑑賞
第7回	SDG’sについての学習②映画「プラスチックの海」鑑賞
第8回	広告概論①
第9回	広告概論②
第10回	広告概論③
第11回	広告概論④
第12回	広告概論⑤
第13回	広告概論⑥

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率　100%	

ファッション流通科

科目名	就職特別講座	担当	桐谷里砂・早川満知子・外部講師・他		
科目分類	演習	開講時期	1年通年	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
就職活動に対する心構え、実際の活動方法や進路決定について、講義、カウンセリング、実技演習の形式で細かく指導する。アパレル業界の構造を知った上で、各自の特性や希望に合った職種についての知識を増やす。
時間外に必要な学修
多様化、複雑化するアパレル業界の状況を把握するため、学外においても幅広い情報収集を行うよう心掛ける。
実務経験を生かした教育内容

授業内容	
第1回	Googleアカウント説明　パスワード変更の説明
第2回	ファッション産業の構造①　業種分類（川上、川中、川下）
第3回	ファッション産業の構造②　業種分類（動画、サイトの卒業生）
第4回	プラン決定カウンセリング①　担任、他による個別相談
第5回	就職部の利用について　ガイダンス、就職部の流れ
第6回	求人情報の見方や試験、面接などについて、一般常識筆記試験、漢字検定について
第7回	履歴書の書き方　正しい履歴書の記入方法（NGワードなど）
第8回	自己分析　自己PRの準備として、『就職ガイドブック』の自己分析のページの記入
第9回	面接練習導入　質問の解答記入、マナーと立ち居振る舞い
第10回	就職メイクレッスン①　社会人として好印象を与えるメイク方法を学ぶ
第11回	就職メイクレッスン②、就職用写真撮影
第12回	面接実技練習①　講師による注意点と実技指導
第13回	面接実技練習②　講師による注意点と実技指導

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
一般常識チェック＆マスター	出席率　100%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習1-2	担当	大内愛深・高山聡美		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標
スタイリストに必要な基本的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。スタイリストの仕事をするための必要な知識、マナー、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの基礎能力を養う。
時間外に必要な学修
コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。
実務経験を生かした教育内容
ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	和服（浴衣）の基礎知識①　講師：高山聡美
第2回	和服（浴衣）の基礎知識②　講師：高山聡美
第3回	和服（浴衣）のコーディネートとマナー　講師：高山聡美
第4回	和服（浴衣）の着付けと説明と練習（自装）　講師：高山聡美
第5回	和服（浴衣）の着付けのテスト（他装）①　講師：高山聡美
第6回	和服（浴衣）の着付けのテスト（他装）②　講師：高山聡美
第7回	ファッションコーディネートの必要性、スタイリストとは
	スタイリストのマナー、日常の心構え
第8回	媒体と仕事の流れ　ファッション雑誌、広告宣伝、ファッションショー
第9回	ファッションコーディネートとは①　ライフスタイルに視点を置いたコーディネート
第10回	ファッションコーディネートとは②　素材や柄に視点を置いたコーディネート
第11回	ファッションコーディネートとは③　イメージに視点を置いたコーディネート
第12回	ファッションコーディネートとは④　アクセサリーに視点を置いたコーディネート
第13回	ファッションコーディネートとは⑤　体型カバーに視点を置いたコーディネート
第14回	コーディネートプランの実践　手順、撮影、SNS投稿、まとめ

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
コーディネートテクニック演出編	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習1-3	担当	大内愛深・浅野彰英		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

スタイリストに必要なカメラワークの基礎知識を基に、現場での仕事の流れや実践力、コミュニケーション術を学ぶ。スタイリストの仕事をするための必要な知識、マナー、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの基礎能力を養う。

時間外に必要な学修

広告、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や看板、ポスターについて調べるなどして知識を広げておくこと。

実務経験を生かした教育内容

ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	カメラワーク①　撮影グループ、衣装、モデル決め
第2回	カメラワーク②　撮影テーマ、コンセプト、ストーリー決め
第3回	カメラワーク③　撮影案件コンテ作成
第4回	カメラワーク④　撮影案件コンテ作成
第5回	カメラワーク⑤　ロケハン、撮影現場決定
第6回	カメラワーク⑥　カメラマンによる絵コンテチェック、準備
第7回	カメラワーク⑦　カメラマンによる絵コンテチェック、準備
第8回	カメラワーク⑧　ヘアメイク、背景、小物をセッティングして写真撮影1
第9回	カメラワーク⑨　ヘアメイク、背景、小物をセッティングして写真撮影2
第10回	カメラワーク⑩　ヘアメイク、背景、小物をセッティングして写真撮影3
第11回	カメラワーク⑪　ヘアメイク、背景、小物をセッティングして写真撮影4
第12回	実習作品撮影①　実習で作成した衣装を撮影する
第13回	実習作品撮影②　実習で作成した衣装を撮影する

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　70% 課題・レポート　30%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習1-4	担当	大内愛深		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

スタイリストに必要な基本的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。スタイリストの仕事をするための必要な知識、マナー、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの基礎能力を養う。

時間外に必要な学修

コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。

実務経験を生かした教育内容

ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ブランド研究①　世界4大コレクションを元にトレンドを研究する1
第2回	ブランド研究②　世界4大コレクションを元にトレンドを研究する2
第3回	ファッション誌分析①　与えられた雑誌の見開きを分析する
第4回	ファッション誌分析②　撮影準備、コーディネート、ヘアメイク提案
第5回	ファッション誌分析③　ヘアメイク、衣装、背景を準備して撮影1
第6回	ファッション誌分析④　ヘアメイク、衣装、背景を準備して撮影2
第7回	オケージョン別撮影①　オケージョン別撮影でのテーマ、コンセプト決め（3テーマ）
第8回	オケージョン別撮影②
	オケージョン別撮影での絵コンテ作成、コーディネートプラン完成（3テーマ）
第9回	オケージョン別撮影③　ヘアメイク、衣装を準備してのオケージョン別撮影1
第10回	オケージョン別撮影④　ヘアメイク、衣装を準備してのオケージョン別撮影2
第11回	オケージョン別撮影⑤　ヘアメイク、衣装を準備してのオケージョン別撮影3
第12回	オケージョン別撮影⑥　片付け、写真選択、SNS用に提出
第13回	ポートフォリオ作成
	ST：カメラワークデータ選択、コンセプトまとめ　BS：服飾造形制作作品撮影

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
コーディネートテクニック演出編	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	ヘア・メイク1-2	担当	酒井聖子		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （52時間）

授業概要と到達目標

ヘアメイクのデザイン力を高めるための講義、演習を行い、作品を写真撮影してマップを制作する。ヘアメイクの基礎的な知識と技術を身に付け、ケサランパサランメイクデュプロマ資格の取得を目指す。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的に情報を収集し、ヘアメイクの知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

ヘアメイクアップアーティストの経験を活かし、実践的な実習授業を行う。

授業内容

第1回	皮膚の構造と、顔各部の名称
第2回	スキンケアの目的、方法
第3回	ノーマルメイク基本パターン
第4回	色の効果と作り方
第5回	自由な色で基本パターン
第6回	メンズメイク
第7回	ナチュラル、キュート、クールなどのイメージメイク①
第8回	ナチュラル、キュート、クールなどのイメージメイク②
第9回	成人式メイク　キュート
第10回	成人式メイク　クール
第11回	ヘアカーラースタイリング①
第12回	ヘアカーラースタイリング②
第13回	ヘアアイロンスタイリング①
第14回	ヘアアイロンスタイリング②
第15回	成人式ヘア　キュート
第16回	成人式ヘア　クール
第17回	ファッションショーヘアメイク①
第18回	ファッションショーヘアメイク②
第19回	雑誌の切り抜きを使用したイメージヘアメイク①
第20回	雑誌の切り抜きを使用したイメージヘアメイク②
第21回	就職活動メイク
第22回	就職活動ヘア
第23回	ケサランパサランメイクデュプロマデモンストレーション①
第24回	ケサランパサランメイクデュプロマデモンストレーション②　セルフメイクで練習
第25回	ケサランパサランメイクデュプロマ試験①
第26回	ケサランパサランメイクデュプロマ試験②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　40% 授業態度　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン・ベーシックプラン

科目名	ファッションビジネス演習1-3	担当	早川満知子・外部講師		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

ファッション業界で活躍している卒業生や、ファッションビジネス界で活躍している方たちをピックアップして学生時代にやるべきこと、職業上の体験や職種による特性、やりがいなどを対話型セミナー形式で聴講する。聴講した内容を参考に、自分自身の長期的ライフプランを考えた上で職業選択の目標を確立し、就職についての職種選択肢を絞っていく。

時間外に必要な学修

ファッション業界の職種の理解、プランによる職種選択肢の把握。セミナー実施者の職業的背景の理解。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、店舗管理経験者の体験を聞き、自身の就職選択やキャリア形成を考察する

授業内容

第1回	卒業生ショップオーナーセミナー事前課題
第2回	卒業生ショップオーナーZOOMセミナー①
第3回	卒業生ショップオーナーZOOMセミナー②
第4回	卒業生アクセサリーなどのデザイナーセミナー
第5回	古着ショップなどのオーナーセミナー　事前課題
第6回	古着ショップなどのオーナーセミナー①　古着の魅力、仕入れなどを解説
第7回	古着ショップなどのデザイナーセミナー②　セミナー聴講後、課題提出
第8回	卒業生アパレル販売経験者セミナー　セレクトショップ経験者のセミナー
第9回	アクセサリーブランドデザイナーセミナー
	ブランド立ち上げ、ポップアップ、EC販売
第10回	ロープレ大会見学①
第11回	ロープレ大会見学②
第12回	ショップリサーチ①
第13回	ショップリサーチ②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率　70% 課題・レポート　30%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	リテール演習1-2	担当	ココスリー		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

アパレルショップ販売経験の講師により、購買心理に基づいたお客様へのアプローチ手法の講義と演習。アパレルショップでの接客販売、応対を楽しいと感じお客様との会話を楽しめるスキルを身につける。

時間外に必要な学修

ショップに出向き、実店舗にて接客（応対）を受け経験値を積むことが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	動的待機～ファーストアプローチ～①
	お客様のお好みの把握～ファーストアプローチ手法取得①
第2回	動的待機～ファーストアプローチ～②
	お客様のお好みの把握～ファーストアプローチ手法取得②
第3回	商品の見せ方、代替え提案、購入決定①
	お品の魅力的な魅せ方、代替え提案パターン、購入後押しへの実践①
第4回	商品の見せ方、代替え提案、購入決定②
	お品の魅力的な魅せ方、代替え提案パターン、購入後押しへの実践②
第5回	購入決定、レジ応対、お見送り、再来店促進①
	レジでの会話、再来店の促し会話力UP①
第6回	購入決定、レジ応対、お見送り、再来店促進②
	レジでの会話、再来店の促し会話力UP②
第7回	フィッティングでのコミュニケーション①　お直し、サイズ提案（確認）の実践①
第8回	フィッティングでのコミュニケーション②　お直し、サイズ提案（確認）の実践②
第9回	チーム応対①　応対バトンタッチ法、複数応対①
第10回	チーム応対②　応対バトンタッチ法、複数応対②
第11回	ロールプレイング実践①　グループ毎でロールプレイング大会実施①
第12回	ロールプレイング実践②　グループ毎でロールプレイング大会実施②
第13回	ロールプレイング大会①　全体でのロールプレイング大会①
第14回	ロールプレイング大会②　全体でのロールプレイング大会②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント等	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	接客販売検定1	担当	早川満知子		
科目分類	講義	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

講義と模試により授業を行う。国家資格・接客販売技能検定の取得を目指す。

時間外に必要な学修

各単元の内容を自宅学習し検定に備えること。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、店舗管理経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	小売業としてのホスピタリティ精神の発揮
第2回	企業倫理とコンプライアンス、職場におけるコミュニケーション
第3回	売場づくり、商品陳列
第4回	商品管理、計数
第5回	商品知識の習得と活用　メンズ①
第6回	商品知識の習得と活用　メンズ②
第7回	商品知識の習得と活用　レディス①
第8回	商品知識の習得と活用　レディス②
第9回	商品知識の習得と活用　素材と加工
第10回	生地の名称
第11回	品質表示とお手入れ方法
第12回	お手入れ方法と保管方法
第13回	服の構造、検品

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
国家資格・接客販売技能検定対策講座	出席率　70% 期末試験　30%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	ショッププランニング1	担当	岩田佳子		
科目分類	演習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

ショップ運営に必要な計数管理の基礎を学び、平行して店舗シュミレーションソフト(ヴィジュアルマーチャンダイザー)の基本操作を習得する。就職活動に備え名古屋の商圏を把握し、それぞれの目指す職種について具体的な業務内容を理解する。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的にショップリサーチなどに出かけ、リテールの現場の知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	職業解説・バイヤーの仕事　ショップ運営の上で商品調達、価格決定など重要な業務を担うバイヤーの仕事について学ぶ
第2回	計数基礎知識①　売上高、売上予算、達成率、売り上げ分解等について学ぶ
第3回	計数基礎知識②　店舗管理表の説明と計算方法を学び計算してみる
第4回	計数基礎知識③　仕入れ等に関する係数、用語の学習
第5回	計数基礎知識④　店舗利益、経費についての学習
第6回	計数まとめ　計数小テスト
第7回	店舗リサーチ①　近隣商圏クラスター分析、仮設を立てリサーチの準備
第8回	店舗リサーチ②　近隣商圏リサーチ、レポート
第9回	店舗企画書制作①　各自の店舗出店計画に基づき、店舗企画書を作成する
第10回	店舗企画書制作②　各自の店舗出店計画に基づき、店舗企画書を作成する
第11回	商品発注について①　店舗の特徴を踏まえたバイイングを発注書に基づき行う
第12回	商品発注について②　店舗の特徴を踏まえたバイイングを発注書に基づき行う
第13回	商品発注について③　店舗の特徴を踏まえたバイイングを発注書に基づき行う
第14回	商品発注について④　店舗の特徴を踏まえたバイイングを発注書に基づき行う
第15回	「VMD」の基本操作①　コンピュータソフト「VMD」の基礎操作の習得（準備）
第16回	「VMD」の基本操作②　コンピュータソフト「VMD」の基礎操作の習得（什器作成）
第17回	「VMD」の基本操作③　コンピュータソフト「VMD」の基礎操作の習得（店舗空間）
第18回	「VMD」の基本操作④　コンピュータソフト「VMD」の基礎操作の習得（店舗空間）
第19回	「VMD」実技試験①　基礎操作の習得確認テスト
第20回	「VMD」実技試験②　基礎操作の習得確認テスト
第21回	ショップシュミレーション①　VMDソフトを使用し、店舗計画、発注書に沿ったショップを作成
第22回	ショップシュミレーション②　VMDソフトを使用し、店舗計画、発注書に沿ったショップを作成
第23回	ショップシュミレーション③　VMDソフトを使用し、店舗計画、発注書に沿ったショップを作成
第24回	ショップシュミレーション④　VMDソフトを使用し、店舗計画、発注書に沿ったショップを作成
第25回	ショップシュミレーション⑤　VMDソフトを使用し、店舗計画、発注書に沿ったショップを作成
第26回	ショップシュミレーション提出

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ベーシックプラン

科目名	服飾手芸1 （アクセサリー・リメイク）	担当	奥村美智子・祖父江佳子・外部講師		
科目分類	実習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

コレクション情報誌などを参考に、自由な発想で手芸的な技法を用いた作品を制作する。衣服と装飾ディティールやアクセサリー・雑貨のコーディネートバランスを学び、魅力的なコーディネート提案ができるようにする。

時間外に必要な学修

日頃から、店頭やメディアなどに目を配り、目新しいデザイン、興味のあるデザインなどの情報を収集する。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／縫製企業でのソーイング経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	布帛とパーツを使用したアクセサリー①　授業説明
第2回	布帛とパーツを使用したアクセサリー②　テクニック練習
第3回	布帛とパーツを使用したアクセサリー③　テクニック練習
第4回	布帛とパーツを使用したアクセサリー④　デザイン出し
第5回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑤　パーツ製作
第6回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑥　パーツ製作
第7回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑦　製作
第8回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑧　製作
第9回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑨　製作
第10回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑩　製作
第11回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑪　製作
第12回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑫　製作
第13回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑬　仕上げ、提出
第14回	Tシャツリメイク①　授業説明、サイズ、色選択、デザイン出し
第15回	Tシャツリメイク②　副資材準備、裁断
第16回	Tシャツリメイク③　縫製
第17回	Tシャツリメイク④　縫製
第18回	Tシャツリメイク⑤　縫製
第19回	Tシャツリメイク⑥　仕上げ、提出
第20回	デニムリメイク①　授業説明、デザイン出し
第21回	デニムリメイク②　素材用意、縫製
第22回	デニムリメイク③　縫製
第23回	デニムリメイク④　縫製
第24回	デニムリメイク⑤　縫製
第25回	デニムリメイク⑥　縫製
第26回	デニムリメイク⑦　仕上げ、提出

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ベーシックプラン

科目名	服飾手芸2 （皮革・ビーズ・帽子）	担当	奥村美智子		
科目分類	実習	開講時期	1年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

コレクション情報誌などを参考に、自由な発想で手芸的な技法を用いた作品を制作する。衣服と装飾ディティールやアクセサリー・雑貨のコーディネートバランスを学び、魅力的なコーディネート提案ができるようにする。

時間外に必要な学修

日頃から、店頭やメディアなどに目を配り、目新しいデザイン、興味のあるデザインなどの情報を収集する。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	授業説明、手芸テクニックを知る　ビーズ、皮革、編み物について
第2回	手芸テクニック①　ビーズ使いを学ぶ
第3回	手芸テクニック②　ビーズ使いを学ぶ
第4回	手芸テクニック③　皮革の取り扱いを学ぶ
第5回	手芸テクニック④　皮革の取り扱いを学ぶ
第6回	手芸テクニック⑤　編地、モチーフ作りを学ぶ
第7回	手芸テクニック⑥　編地、モチーフ作りを学ぶ
第8回	手芸テクニック⑦　編地、モチーフ作りを学ぶ
第9回	手芸作品デザイン考案①　帽子、アクセサリーなど作りたい小物2点選び学んだテクニックを入れてデザインを考える
第10回	手芸作品デザイン考案②　帽子、アクセサリーなど作りたい小物2点選び学んだテクニックを入れてデザインを考える
第11回	作品制作①　デザインした作品1点目を制作
第12回	作品制作②　デザインした作品1点目を制作
第13回	作品制作③　デザインした作品1点目を制作
第14回	作品制作④　デザインした作品1点目を制作
第15回	作品制作⑤　デザインした作品1点目を制作
第16回	作品制作⑥　作品仕上げ、提出
第17回	作品制作⑦　作品撮影
第18回	作品制作①　デザインした作品2点目を制作
第19回	作品制作②　デザインした作品2点目を制作
第20回	作品制作③　デザインした作品2点目を制作
第21回	作品制作④　デザインした作品2点目を制作
第22回	作品制作⑤　デザインした作品2点目を制作
第23回	作品制作⑥　作品仕上げ、提出
第24回	作品制作⑦　作品撮影
第25回	ファイル制作①　制作した作品をファイルにまとめる
第26回	ファイル制作②　制作した作品をファイルにまとめる

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科

科目名	服飾造形応用1 （理論、パターン含む）	担当	祖父江佳子・奥村美智子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

サイズ展開されたスローパーをもとにテーラードジャケットのパターンメーキングと縫製の実習を行う。ジャケットの構造を理解し、パターンと縫製を行い、就職後の接客やコーディネートに対応できるような力を身に付ける。

時間外に必要な学修

準備学習としてジャケットに使用する素材（布、付属）の準備など。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ジャケットパターン① テーラードジャケットの構造、スローパー説明、デザイン出し
第2回	ジャケットパターン② スローパーサイズ決め、トレース
第3回	ジャケットパターン③ 2面構成ダーツ記入
第4回	ジャケットパターン④ テーラードカラー作図
第5回	ジャケットパターン⑤ テーラードカラー作図
第6回	ジャケットパターン⑥ ポケット作図
第7回	ジャケットパターン⑦ ポケット作図、裾ライン修正
第8回	ジャケットパターン⑧ アームホール確認
第9回	ジャケットパターン⑨ 身頃ファーストパターン完成
第10回	ジャケットパターン⑩ 2枚袖作図、いせ計算
第11回	ジャケットパターン⑪ 明きみせ記入、ボタン位置記入
第12回	ジャケットパターン⑫ 外袖、内袖完成
第13回	ジャケットパターン⑬ 仮縫い準備、トワル地直し

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率 30% 課題・レポート 70%	

ファッション流通科

科目名	服飾造形応用2 （理論、パターン含む）	担当	祖父江佳子・奥村美智子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

サイズ展開されたスローパーをもとにテーラードジャケットのパターンメーキングと縫製の実習を行う。ジャケットの構造を理解し、パターンと縫製を行い、就職後の接客やコーディネートに対応できるような力を身に付ける。

時間外に必要な学修

準備学習としてジャケットに使用する素材（布、付属）の準備など。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ジャケットパターン⑭　仮縫い組み立て（両身頃と右袖）
第2回	ジャケットパターン⑮　仮縫い組み立て（両身頃と右袖）
第3回	ジャケットパターン⑯　仮縫い組み立て（両身頃と右袖）
第4回	ジャケットパターン⑰　トワル仮縫いをボディで確認（肩パットなど）
第5回	ジャケットパターン⑱　試着、修正、写真撮影（前面、側面）
第6回	ジャケットパターン⑲　ファーストパターン修正、工業用パターントレース
第7回	ジャケットパターン⑳　ファーストパターン修正、工業用パターントレース
第8回	ジャケットパターン㉑　工業用寸法確認
第9回	ジャケットパターン㉒　工業用寸法確認
第10回	ジャケットパターン㉓　見返しマニプレーション
第11回	ジャケットパターン㉔　見返しマニプレーション
第12回	ジャケットパターン㉕　衿マニプレーション
第13回	ジャケットパターン㉖　衿マニプレーション
第14回	ジャケットパターン㉗　身頃表地工業用パターン
第15回	ジャケットパターン㉘　身頃表地工業用パターン
第16回	ジャケットパターン㉙　身頃裏地工業用パターン
第17回	ジャケットパターン㉚　身頃裏地工業用パターン
第18回	ジャケットパターン㉛　身頃裏地工業用パターン
第19回	ジャケットパターン㉜　2枚袖表地工業用パターン
第20回	ジャケットパターン㉝　2枚袖表地工業用パターン
第21回	ジャケットパターン㉞　2枚袖表地（マニプレーション含む）工業用パターン
第22回	ジャケットパターン㉟　2枚袖表地（マニプレーション含む）工業用パターン
第23回	ジャケットパターン㊱　芯地、ポケット工業用パターン作成
第24回	ジャケットパターン㊲　芯地、ポケット工業用パターン作成
第25回	ジャケットパターン㊳　工業用パターン確認
第26回	ジャケットパターン㊴　工業用パターン確認、パターンカット

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	服飾造形応用3 （理論、パターン含む）	担当	祖父江佳子・奥村美智子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

サイズ展開されたスローパーをもとにテーラードジャケットのパターンメーキングと縫製の実習を行う。ジャケットの構造を理解し、パターンと縫製を行い、就職後の接客やコーディネートに対応できるような力を身に付ける。

時間外に必要な学修

準備学習としてジャケットに使用する素材（布、付属）の準備など。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ジャケット縫製①　マーキング、裁断準備、芯貼り
第2回	ジャケット縫製②　表身頃裁断
第3回	ジャケット縫製③　表身頃裁断
第4回	ジャケット縫製④　裏地裁断
第5回	ジャケット縫製⑤　部分芯貼り
第6回	ジャケット縫製⑥　伸び止めテープ、ロック
第7回	ジャケット縫製⑦　印付け、衿作成
第8回	ジャケット縫製⑧　ダーツ、切り替え縫い
第9回	ジャケット縫製⑨　見返し縫い
第10回	ジャケット縫製⑩　表身頃縫い合わせ
第11回	ジャケット縫製⑪　ポケット作り
第12回	ジャケット縫製⑫　ポケット作り
第13回	ジャケット縫製⑬　ポケット作り

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	服飾造形応用4 （理論、パターン含む）	担当	祖父江佳子・奥村美智子		
科目分類	必修/演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

サイズ展開されたスローパーをもとにテーラードジャケットのパターンメーキングと縫製の実習を行う。ジャケットの構造を理解し、パターンと縫製を行い、就職後の接客やコーディネートに対応できるような力を身に付ける。

時間外に必要な学修

準備学習としてジャケットに使用する素材（布、付属）の準備など。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ジャケット縫製⑭　裏地縫い
第2回	ジャケット縫製⑮　裏地縫い
第3回	ジャケット縫製⑯　衿付け
第4回	ジャケット縫製⑰　衿付け
第5回	ジャケット縫製⑱　袖作り
第6回	ジャケット縫製⑲　袖作り
第7回	ジャケット縫製⑳　脇縫い、表袖
第8回	ジャケット縫製㉑　裏袖縫い合わせ
第9回	ジャケット縫製㉒　袖作り
第10回	ジャケット縫製㉓　袖作り
第11回	ジャケット縫製㉔　袖作り
第12回	ジャケット縫製㉕　山布付け
第13回	ジャケット縫製㉖　肩パット付け
第14回	ジャケット縫製㉗　裏袖縫い合わせ
第15回	ジャケット縫製㉘　裏袖縫い合わせ
第16回	ジャケット縫製㉙　身頃中心とじ
第17回	ジャケット縫製㉚　裏地後中心縫い
第18回	ジャケット縫製㉛　まとめ
第19回	ジャケット縫製㉜　まとめ
第20回	ジャケット縫製㉝　ボタン付け、ボタンホール
第21回	ジャケット縫製㉞　仕上げアイロン
第22回	部分縫い①　コンシールファスナー
第23回	部分縫い②　袋縫い、折伏せ縫い、巻ロック
第24回	部分縫い③　袋縫い、折伏せ縫い、巻ロック
第25回	コーディネート発表①
第26回	コーディネート発表②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	デザイン画応用1	担当	大岡晶子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
デザイン画の基本的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、コンテスト参加を通して実践力を身に付ける。ハンガーイラストの技法の習得と、後期に制作するNFファッションショーに向けての企画提案をする上で必要になる技法を学習する。随時各種コンテストに応募。

時間外に必要な学修
マッチング企画のアイデア収集。コンテスト参加作品のアイデア収集。

実務経験を生かした教育内容
アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	オリエンテーション　早描き
第2回	ハンガーイラスト①
	1年次に取得したシャツ、スカート、パンツなどの描き方の復習
第3回	ハンガーイラスト②
	ワンピースの描き方とギャザー、フリルなどの表現方法を学ぶ
第4回	模写　モードエモードから今シーズン注目スタイルをピックアップし、模写とハンガーイラストを描く
第5回	ハンガーイラスト③
	シャツの描き方と衿、袖、前立てなどのデザインディティールの表現方法を学ぶ
第6回	ハンガーイラスト④
	ジャケットの描き方と衿、袖などのデザインディティールの表現方法を学ぶ
第7回	革製品の描き方①　革コンテスト参加
第8回	革製品の描き方②　革コンテスト参加
第9回	ハンガーイラスト⑤　スカート、パンツの描き方と構造を学ぶ
第10回	ハンガーイラスト⑥　スカート、パンツの描き方と構造を学ぶ
第11回	ハンガーイラスト⑦　スカート、パンツの描き方と構造を学ぶ
第12回	毛皮の描き方①　毛皮デザインコンテスト参加
第13回	毛皮の描き方②　毛皮デザインコンテスト参加

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッションデザインテクニック	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	デザイン画応用2	担当	大岡晶子		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

デザイン画の描画技術を講義と演習、実技練習で学び、企画書に向けたデザイン画を描く。ハンガーイラストの技法の習得と、後期に制作するNFファッションショーに向けての企画提案をする上で必要になる技法を学習する。

時間外に必要な学修

各自、モードデッサンを行う。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	NFFF企画書に向けてのデザイン画① 全国ファッションデザイン画コンクール作品参加、水彩の復習
第2回	NFFF企画書に向けてのデザイン画② 全国ファッションデザイン画コンクール作品参加、水彩の復習
第3回	NFFF企画書に向けてのデザイン画③　学内デザイン画コンテスト作品参加
第4回	NFFF企画書に向けてのデザイン画④　学内デザイン画コンテスト作品参加
第5回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑤　シューズデザイン画コンテスト作品参加
第6回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑥　シューズデザイン画コンテスト作品参加
第7回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑦ ハンガーイラスト　アウターをスタイル画とアイテム画で描く（1）ウールCT
第8回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑧ ハンガーイラスト　アウターをスタイル画とアイテム画で描く（2）ダウン、中綿
第9回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑨ ハンガーイラスト　アウターをスタイル画とアイテム画で描く（3）トレンチ
第10回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑩ カセラサラフェスタファッションコンテスト作品参加
第11回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑪ カセラサラフェスタファッションコンテスト作品参加
第12回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑫　模写（1）　モードエモードから今シーズン注目スタイルをピックアップし、模写とハンガーイラストを描く
第13回	NFFF企画書に向けてのデザイン画⑬　模写（2）　モードエモードから今シーズン注目スタイルをピックアップし、模写とハンガーイラストを描く

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッションデザインテクニック	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	ファッション情報1	担当	安達竜也		
科目分類	必修／講義	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	2単位 （26時間）

授業概要と到達目標

実社会での実例を挙げ、効果的なマーケティング、デザイン基礎について学ぶケーススタディ。ファッションの現状を鑑みた傾向と分析、それに基づく実践的な能力開発を目的とする。

時間外に必要な学修

事前に繊研新聞、コレクション情報などに目を通し、業界の現状について予備知識を得ておく事。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での素材・商品企画、MD、ディレクション経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ガイダンス　授業の概要と進め方について
第2回	ファッション業界の現状　就活の注意点
第3回	ファッションビジネスの新時代　サスティナブル、メタバース
第4回	ファッションマーケティング①　ファッションビジネスの仕組み
第5回	ファッションマーケティング②　ファッションビジネスの戦略
第6回	ビジュアル効果①　コンポジション、タイポフラフィー
第7回	ビジュアル効果②　コンポジション、タイポフラフィー
第8回	イメージの共有と可視化①　ビジュアルプレゼンテーション
第9回	イメージの共有と可視化②　ビジュアルプレゼンテーション
第10回	企画書の組み立て①　プレゼンテーションで勝つ方法
第11回	企画書の組み立て②　プレゼンテーションで勝つ方法
第12回	マーチャンダイジング基礎　戦略としての商品構成
第13回	全体のまとめ

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
コレクション情報誌	出席率　20% 課題・レポート　40% 期末試験　40%	

ファッション流通科

科目名	ファッション情報2	担当	安達竜也		
科目分類	講義	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	2単位 （26時間）

授業概要と到達目標

実社会での実例を挙げ、効果的なマーケティング、デザイン基礎について学ぶケーススタディ。ファッションの現状を鑑みた傾向と分析、それに基づく実践的な能力開発を目的とする。

時間外に必要な学修

事前に繊研新聞、コレクション情報などに目を通し、業界の現状について予備知識を得ておく事。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での素材・商品企画、MD、ディレクション経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	色彩効果①　基礎編　色彩による心理効果と客寄せの関係
第2回	色彩効果②　応用編　人を惹きつける色彩の心理効果
第3回	色彩効果③　実践編　実例に伴い戦略的な色彩の使い方を知る
第4回	サイクルアップと素材の基礎知識①　現在のアパレルの最優先課題
第5回	サイクルアップと素材の基礎知識②　現在のアパレルの最優先課題
第6回	プロダクトポートフォリオマネジメント　フェイス在庫と売り上げのコントロール
第7回	アパレルの過剰生産はなぜ止められないのか　生産リスクとブランドサイクルについて
第8回	ECマーチャンダイジング　オンラインに移行するマーケットに対する仕掛けとは
第9回	メタバースという新たなマーケット　バーチャルファッションへのアプローチ
第10回	初見のお客様が顧客になる仕掛け　無名ブランドのブランディング
第11回	アパレル各社の戦略の違い　ブランドの階層、ブランドアンブレラ
第12回	顧客情報分析　店舗の客離れ対策
第13回	これからのアパレルの仕組み、全体のまとめ

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
コレクション情報誌	出席率　20% 課題・レポート　40% 期末試験　40%	

ファッション流通科

科目名	NF作品企画	担当	佐藤弥生・桐谷里砂		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	2単位 （60時間）

授業概要と到達目標

SDGsを総合テーマに掲げ、企業リサーチに基づいてブランドのプロモーション企画を立てる。企画内容は後期からの授業で作成したコーディネート作品として「NFFF2024」ファッションショーにて発表する。

時間外に必要な学修

事前にコレクション情報誌などに目を通し、トレンドやファッション業界の現状について予備知識を得ておくこと。

実務経験を生かした教育内容

商品企画、デザイン、販売の経験を活かし、実践的な演習授業を行う。
アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	NF制作について　卒業制作となる課題、グループ制作方法について説明
第2回	ブックオフ様企業説明、映像紹介
第3回	★ブックオフ様店舗訪問、川崎様によるレクチャー
第4回	同上
第5回	☆山口先生授業①
第6回	同上
第7回	課題A　㋐＞リユース市場研究　㋑＞コーディネートテーマ選択
第8回	テーマに沿ってリサーチ、分析
第9回	前回の続き
第10回	㋐、㋑プレゼンテーションデータ作成
第11回	㋐、㋑プレゼンテーションデータ修正、完成
第12回	コーディネート案出し
第13回	コーディネートデザイン画
第14回	同上
第15回	課題A　コーディネートデザイン画チェック
第16回	審査結果に基づきグループリーダー候補を決定、協賛ブランド発表
第17回	課題B　グループ決定
第18回	協賛ブランド、アイテム決定
第19回	協賛ブランド、アイテムに沿ったテーマ設定、リサーチ、分析
第20回	コーディネート案出し
第21回	☆山口先生授業②　コーディネート案チェック
第22回	同上
第23回	コーディネート制作①
第24回	同上
第25回	コーディネート制作②
第26回	同上
第27回	コーディネート制作③
第28回	同上
第29回	☆山口先生授業③　コーディネート作品チェック
第30回	結果に応じ後期授業へテーマを引き継ぐ

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	NF作品制作1	担当	中川恵子・奥村美智子・祖父江佳子 大河内俊宏・山口壮大		
科目分類	必修／実習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	3単位 （78時間）

授業概要と到達目標
各グループの企画テーマに応じてリサーチ、プランニング、デザイン出しなどを個別に指導する。卒業作品発表イベントとして開催される「NFFF」ファッションショーに向けて作品を制作する。テーマ設定、舞台演出、ヘアメークなどを含めてステージで発表する。
時間外に必要な学修
事前にコレクション情報誌などに目を通し、トレンドやファッション業界の現状について予備知識を得ておくこと。
実務経験を生かした教育内容
アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	修正企画案発表　制作担当教員にプレゼンテーション 制作、リメイク、購入確認　制作担当確認、モデル選定
第2回	コーディネート作品制作①　素材選定
第3回	コーディネート作品制作②　素材選定
第4回	コーディネート作品制作③　パターン制作、リメイク、購入、協賛企業提出用企画書制作
第5回	コーディネート作品制作④　パターン制作、リメイク、購入、協賛企業提出用企画書制作
第6回	コーディネート作品制作⑤　パターン制作、リメイク、購入、協賛企業提出用企画書制作
第7回	コーディネート作品制作⑥　パターン制作、リメイク、購入、協賛企業提出用企画書制作
第8回	コーディネート作品制作⑦　仮縫い制作
第9回	コーディネート作品制作⑧　仮縫い制作
第10回	コーディネート作品制作⑨　仮縫い制作
第11回	コーディネート作品制作⑩　仮縫い制作
第12回	コーディネート作品制作⑪　仮縫い制作
第13回	コーディネート作品制作⑫　仮縫い制作
第14回	コーディネート作品制作⑬　仮縫い制作、生地スワッチ決定
第15回	コーディネート作品制作⑭　仮縫い制作、生地スワッチ決定
第16回	コーディネート作品制作⑮　仮縫い制作、プレゼンテーション準備
第17回	コーディネート作品制作⑯　仮縫い制作、プレゼンテーション準備

授業内容	
第18回	仮縫いによるコーディネートチェック及びスワッチチェック①　講師：山口壮大
第19回	仮縫いによるコーディネートチェック及びスワッチチェック②　講師：山口壮大
第20回	仮縫いによるコーディネートチェック及びスワッチチェック③　講師：山口壮大
第21回	仮縫いによるコーディネートチェック及びスワッチチェック④　講師：山口壮大
第22回	コーディネート修正①　パターン修正、再組み立て、本番作品制作
第23回	コーディネート修正②　パターン修正、再組み立て、本番作品制作
第24回	コーディネート修正③　パターン修正、再組み立て、本番作品制作
第25回	コーディネート修正④　パターン修正、再組み立て、本番作品制作
第26回	コーディネート修正⑤　パターン修正、再組み立て、本番作品制作
第27回	コーディネート修正⑥　パターン修正、再組み立て、本番作品制作
第28回	作品制作①　本番作品制作、CM絵コンテ制作
第29回	作品制作②　本番作品制作、CM絵コンテ制作
第30回	作品制作③　本番作品制作、CM絵コンテ打ち合わせ
第31回	作品制作④　本番作品制作、CM絵コンテ打ち合わせ
第32回	作品制作⑤　本番作品制作、CMロケハン
第33回	作品制作⑥　本番作品制作、CM撮影許可取り
第34回	作品制作⑦　本番作品制作、ヘアメイク案出し
第35回	作品制作⑧　本番作品制作、ヘアメイク案出し
第36回	作品制作⑨　本番作品制作、ヘアメイク材料確認
第37回	作品制作⑩　本番作品制作、ヘアメイク練習
第38回	作品制作⑪　本番作品制作、ヘアメイク練習
第39回	作品制作⑫　プレゼンテーション準備

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	NF作品制作2	担当	中川恵子・奥村美智子・祖父江佳子 大河内俊宏・山口壮大		
科目分類	必修／実習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

各グループの企画テーマに応じてリサーチ、プランニング、デザイン出しなどを個別に指導する。卒業作品発表イベントとして開催される「NFFF」ファッションショーに向けて作品を制作する。テーマ設定、舞台演出、ヘアメークなどを含めてステージで発表する。

時間外に必要な学修

事前にコレクション情報誌などに目を通し、トレンドやファッション業界の現状について予備知識を得ておくこと。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのパタンナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	作品チェック①　講師：山口壮大
第2回	作品チェック②　講師：山口壮大
第3回	作品チェック③　講師：山口壮大
第4回	作品チェック④　講師：山口壮大
第5回	コーディネート修正①
第6回	コーディネート修正②
第7回	コーディネート修正③
第8回	コーディネート修正④
第9回	コーディネート仕上げ①
第10回	コーディネート仕上げ②
第11回	コーディネート仕上げ③
第12回	CM撮影①
第13回	CM撮影②
第14回	プレゼンテーションまとめ①
第15回	プレゼンテーションまとめ②
第16回	最終コーディネートチェック①　講師：山口壮大
第17回	最終コーディネートチェック②　講師：山口壮大
第18回	最終コーディネートチェック③　講師：山口壮大
第19回	最終コーディネートチェック④　講師：山口壮大
第20回	企画書最終修正①
第21回	企画書最終修正②
第22回	ファイル制作①
第23回	ファイル制作②
第24回	演出考案①　音楽、モデリング決定
第25回	演出考案②　音楽、モデリング決定
第26回	演出考案③　音楽、モデリング決定

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率　30% 課題・レポート　70%	

ファッション流通科

科目名	NF作品制作3	担当	祖父江佳子		
科目分類	実習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

各グループの企画テーマに応じてリサーチ、プランニング、デザイン出しなどを個別に指導する。卒業作品発表イベントとして開催される「NFFF」ファッションショーに向けて作品を制作する。テーマ設定、舞台演出、ヘアメークなどを含めてステージで発表する。

時間外に必要な学修

事前にコレクション情報誌などに目を通し、トレンドやファッション業界の現状について予備知識を得ておくこと。

実務経験を生かした教育内容

授業内容

第1回	NF学内リハーサル①
第2回	NF学内リハーサル②
第3回	NF学内リハーサル③
第4回	NF学内リハーサル④
第5回	NF学内リハーサル⑤
第6回	NF学内リハーサル⑥
第7回	NF学内リハーサル⑦
第8回	NF学内リハーサル⑧
第9回	NF学内リハーサル⑨
第10回	NF学内リハーサル⑩
第11回	NF学内リハーサル⑪
第12回	NF学内リハーサル⑫
第13回	NF学内リハーサル⑬
第14回	NF学内リハーサル⑭
第15回	演出打ち合わせ①
第16回	演出打ち合わせ②
第17回	演出打ち合わせ③
第18回	演出打ち合わせ④
第19回	NF会場リハーサル①
第20回	NF会場リハーサル②
第21回	NF本番①
第22回	NF本番②
第23回	NF本番③
第24回	NF本番④
第25回	学内展示①
第26回	学内展示②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率 30% 課題・レポート 70%	

ファッション流通科

科目名	造形美術	担当	矢部達也		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

課題に応じ講義と演習、実習の形式で学ぶ。ベーシックな造形力、色彩力と、豊かな発想力を身につけることを目的として、美術の歴史や鑑賞の学習も含め、この1年間で感覚やかたちや言葉に表す力の獲得を目指す。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的に美術館、博物館などに出かけ知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

ディスプレイデザイナーとしての経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	授業説明、基礎（1）形の感性
第2回	紙の立体化（1）構想・制作
第3回	紙の立体化（2）制作・発表
第4回	基礎（2）色の感性
第5回	企画演習（1/構想・制作）
第6回	企画演習（2/制作）
第7回	企画演習（3/制作・発表）
第8回	基礎（3）アート鑑賞
第9回	オブジェ演習（1/構想・制作）
第10回	オブジェ演習（2/制作）・総合演習（1/概要）
第11回	オブジェ演習（3/制作）・総合演習（2/制作）
第12回	総合演習（3/制作）
第13回	総合演習（4/制作）
第14回	作品発表

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率 50% 課題・レポート 50%	

ファッション流通科

科目名	ファッションビジネス演習2-1	担当	早川満知子		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標
卒業生による企業やECでの経験を講義形式で受講。実際のビジネスモデルの立案や利益計算などを学習。また、話題性のある舞台芸術やパフォーマンスなどを鑑賞し、ファッションビジネスとのつながりを考える。ファッション販売やスタイリスト以外の職業選択肢が視野に入るように、広く知識や経験を積んでいく。

時間外に必要な学修
各授業内容についての事前調査やファッション業界以外の時事的な話題の収集。

実務経験を生かした教育内容
アパレル企業での販売、店舗管理経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	年金セミナー
第2回	研修旅行リサーチテーマ決定
第3回	研修旅行リサーチ計画書作成①プレゼン内容・構成
第4回	研修旅行リサーチ計画書作成②プレゼン内容・構成
第5回	研修旅行リサーチ計画書作成③リサーチ場所・行程計画
第6回	研修旅行リサーチ計画書作成④計画書記入・提出
第7回	研修旅行①
第8回	研修旅行②
第9回	研修旅行③
第10回	研修旅行④
第11回	研修旅行⑤
第12回	研修旅行⑥
第13回	研修旅行⑦
第14回	研修旅行⑧
第15回	リサーチ内容まとめ①プレゼン資料作成・プレゼン内容決定・練習
第16回	リサーチ発表
第17回	河口先生セミナー①
第18回	河口先生セミナー②
第19回	河口先生セミナー③
第20回	河口先生セミナー④
第21回	河口先生セミナー⑤
第22回	卒業生セミナー（セレクトショップ経験者）
第23回	繊研トレンドセミナー
第24回	現代アート鑑賞①
第25回	現代アート鑑賞②
第26回	舞台芸術鑑賞

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
	出席率 70% 課題・レポート 30%	

ファッション流通科

科目名	就職特別講座1	担当	桐谷里砂・早川満知子・外部講師・他		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
就職活動に対する心構え、実際の活動方法や進路決定について、講義、カウンセリング、実技演習の形式で細かく指導する。各自の目標とする企業へ的確にアプローチし、希望の企業の就職内定をいただく。
時間外に必要な学修
多様化、複雑化するアパレル業界の状況を把握するため、学外においても幅広い情報収集を行うよう心掛ける。
実務経験を生かした教育内容

授業内容	
第1回	昨年度の求人状況について　求人をいただいている企業の紹介
第2回	履歴書の書き方復習　正しい履歴書の記入方法の復習、確認（NGワードなど）
第3回	履歴書の書き方復習　正しい履歴書の記入方法の復習、確認（NGワードなど）
第4回	企業説明会①
第5回	企業説明会②
第6回	企業説明会後　個別面談
第7回	A）面接練習　志望企業に合わせた面接練習
第8回	B)就職用書類作成　志望企業に合わせた書類、持参資料作成
第9回	A)、B)個別対応①
第10回	A)、B)個別対応②
第11回	A)、B)個別対応③
第12回	A)、B)個別対応④
第13回	A)、B)個別対応⑤

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファイル、テキスト、プリント	出席率　100%	

ファッション流通科

科目名	就職特別講座2	担当	桐谷里砂・早川満知子・外部講師・他		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
就職活動に対する心構え、実際の活動方法や進路決定について、講義、カウンセリング、実技演習の形式で細かく指導する。各自の目標とする企業へ的確にアプローチし、希望の企業の就職内定をいただく。
時間外に必要な学修
多様化、複雑化するアパレル業界の状況を把握するため、学外においても幅広い情報収集を行うよう心掛ける。
実務経験を生かした教育内容

授業内容	
第1回	A）面接練習　志望企業に合わせた面接練習
第2回	B)就職用書類作成　志望企業に合わせた書類、持参資料作成
第3回	A)、B)個別対応①
第4回	A)、B)個別対応②
第5回	A)、B)個別対応③
第6回	A)、B)個別対応④
第7回	A)、B)個別対応⑤
第8回	A)、B)個別対応⑥
第9回	A)、B)個別対応⑦
第10回	A)、B)個別対応⑧
第11回	A)、B)個別対応⑨
第12回	A)、B)個別対応⑩
第13回	A)、B)個別対応⑪

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファイル、テキスト、プリント	出席率　100%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習2-1	担当	大内愛深・亀井幸一		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標
スタイリストに必要な実務的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。ファッションだけではなく、ライフスタイル全般を演出するために必要な知識、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの能力を養う。
時間外に必要な学修
コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。
実務経験を生かした教育内容
ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	スタイリストの仕事について　媒体と仕事の流れについて、就職希望調査
第2回	和食器講義①　種類、特徴について
第3回	和食器講義②　取り扱い、コーディネートについて
第4回	和食器案出し　手びねり、ろくろの2種類の案出し
第5回	変身コーディネート①　グループ決め、案出し
第6回	変身コーディネート②　衣装調達、ヘアメイク案出し
第7回	変身コーディネート③　ヘアメイク
第8回	変身コーディネート④　撮影
第9回	陶芸実習①　陶芸実習：手びねり制作
第10回	陶芸実習②　陶芸実習：ろくろ制作
第11回	陶芸実習③　瀬戸陶芸リサーチ
第12回	裾上げ実習①　パンツの裾上げ応急処置
第13回	裾上げ実習②　パンツの裾上げ処理まつり早縫い

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　100%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習2-2	担当	大内愛深		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

スタイリストに必要な実務的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。ファッションだけではなく、ライフスタイル全般を演出するために必要な知識、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの能力を養う。

時間外に必要な学修

コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。

実務経験を生かした教育内容

ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ブライダルコーディネート①　フォーマルシーン、ドレスの種類、取り扱いについて
第2回	ブライダルコーディネート②　新郎、参列者、アクセサリー小物について
第3回	ブランド研究①　4大都市コレクション情報解説
第4回	ブランド研究②　個々の視点でのブランド分析
第5回	ブランド分析③　リサーチ
第6回	ブランド分析④　まとめ
第7回	帽子ショー企画①　係決め
第8回	帽子ショー企画②　ショー構成とコーナー企画案出し
第9回	帽子ショー企画③　ショー作品選択、コーナー企画打ち合わせ①
第10回	帽子ショー企画④　ショーモデル出順決め、コーナー企画打ち合わせ②
第11回	帽子ショー企画⑤　帽子と衣装の組み合わせ
第12回	帽子ショー企画⑥　帽子と衣装の組み合わせチェック
第13回	帽子ショー企画⑦　帽子リース、コーナー企画準備

	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習2-3	担当	大内愛深		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （30時間）

授業概要と到達目標

スタイリストに必要な実務的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。ファッションだけではなく、ライフスタイル全般を演出するために必要な知識、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの能力を養う。

時間外に必要な学修

コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。

実務経験を生かした教育内容

ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	帽子ショー企画①　衣装管理表作成①、コーナー企画準備①
第2回	帽子ショー企画②　衣装管理表作成②、コーナー企画準備②
第3回	帽子ショー企画③　モデル衣装合わせ①
第4回	帽子ショー企画④　モデル衣装合わせ②
第5回	帽子ショー企画⑤　台本準備①、衣装調整①、SNS投稿①
第6回	帽子ショー企画⑥　台本準備②、衣装調整②、SNS投稿②
第7回	帽子ショー企画⑦　モデルウォーキング調整①
第8回	帽子ショー企画⑧　モデルウォーキング調整②
第9回	帽子ショー企画⑨　モデルウォーキングリハーサル（学生モデル込み）
第10回	帽子ショー企画⑩　モデルウォーキング調整③、ヘアメイク案出し、音楽準備①
第11回	帽子ショー企画⑪　モデルウォーキング調整④、ヘアメイク準備、音楽準備②
第12回	帽子ショー企画⑫　コーナー企画リハーサル①
第13回	帽子ショー企画⑬　コーナー企画リハーサル②
第14回	帽子ショー企画⑭　校内リハーサル①（学生モデル込み）
第15回	帽子ショー企画⑮　校内リハーサル②（学生モデル込み）

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　100%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習2-4	担当	大内愛深・岸野美代子・松井尚子		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

スタイリストに必要な実務的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。ファッションだけではなく、ライフスタイル全般を演出するために必要な知識、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの能力を養う。

時間外に必要な学修

コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。

実務経験を生かした教育内容

ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	帽子ショー企画①　ヘアメイク練習①　講師：酒井聖子
第2回	帽子ショー企画②　ヘアメイク練習②　講師：酒井聖子
第3回	帽子ショー企画③　準備調査①
第4回	帽子ショー企画④　準備調査②
第5回	帽子ショー企画⑤　校内リハーサル③（学生モデル込み）
第6回	帽子ショー企画⑥　校内リハーサル④（学生モデル込み）
第7回	帽子ショー企画⑦　本番ヘアメイク
第8回	帽子ショー企画⑧　本番搬入
第9回	帽子ショー企画⑨　本番
第10回	帽子ショー企画⑩　本番搬出
第11回	帽子ショー企画⑪　校内後片付け
第12回	フラワーアレンジメント講義① 生花の種類、取り扱いについて　講師：フローリスト　松井尚子
第13回	フラワーアレンジメント講義② コーディネートについて　講師：フローリスト　松井尚子

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　100%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習2-5	担当	大内愛深・岸野美代子・松井尚子・高山聡美		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標
スタイリストに必要な実務的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。ファッションだけではなく、ライフスタイル全般を演出するために必要な知識、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの能力を養う。
時間外に必要な学修
コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。
実務経験を生かした教育内容
ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	フラワーアレンジメント演習①　アレンジメント　講師：フローリスト　岸野美代子
第2回	フラワーアレンジメント演習② ヘアオーナメント　講師：フローリスト　岸野美代子
第3回	和服の講義①　和服の素材について　講師：高山聡美
第4回	和服の講義②　和服の種類について　講師：高山聡美
第5回	和服の講義③　和服の取り扱いについて　講師：高山聡美
第6回	和服の講義④　和服のTPOやコーディネートについて　講師：高山聡美
第7回	和服を取り入れた和洋折衷コーディネート演習① コーディネート　講師：高山聡美
第8回	和服を取り入れた和洋折衷コーディネート演習② ポートフォリオ、SNS投稿　講師：高山聡美
第9回	ショー企画①　タンザニア解説
第10回	ショー企画②　係決め
第11回	ショー企画③　企画案出し
第12回	ショー企画④　布地管理、布地決め
第13回	ショー企画⑤　モデリング、ヘアメイク
第14回	ショー企画⑥　音楽決め、出順表作成

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　100%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	スタイリスト演習2-6	担当	大内愛深		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

スタイリストに必要な実務的な知識、技術を講義と演習、実技練習で学ぶとともに、イベントなどに参加して実践力を身に付ける。ファッションだけではなく、ライフスタイル全般を演出するために必要な知識、コーディネート技術、情報を学び、多方面で活躍できるスタイリストの能力を養う。

時間外に必要な学修

コレクション情報誌、雑誌、テレビ番組やネットのコンテンツなどに目を通す。学校周辺の商業施設や店舗について調べるなどして知識を広げておくこと。

実務経験を生かした教育内容

ショー、CM、雑誌関連のスタイリスト経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ショー企画⑦　コーディネートチェック①
第2回	ショー企画⑧　コーディネートチェック②
第3回	ショー企画⑨　ヘアメイク練習
第4回	ショー企画⑩　リハーサル準備
第5回	ショー企画⑪　リハーサル①
第6回	ショー企画⑫　リハーサル②
第7回	ショー本番①　ヘアメイク
第8回	ショー本番②　現地リハーサル
第9回	ショー本番③　ショー、片付け
第10回	ブランド研究①　カンガ洗濯
第11回	ブランド研究②　カンガアイロン掛け、提出
第12回	洋食器講義①　種類や取り扱い、テーブルマナーについて
第13回	洋食器講義②　テーブルコーディネート、撮影時の注意について

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	ヘア・メイク2-1	担当	吉田桂子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

ヘアメイクのデザイン力を高めるための講義、演習を行い、作品を写真撮影する。ヘアメイクの応用的な知識と技術を身につけ、ヘアスタイルがまとめられる力と、イメージメイクができる力を養う。作品の写真撮影をし、ポートフォリオを作成する。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的に情報を収集し、ヘアメイクの知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

撮影アシスタント、ヘアメイクアップアーティストの経験を活かし、実践的な実習授業を行う。

授業内容

第1回	クイックヘアアレンジ①　写真撮影
第2回	クイックヘアアレンジ②　写真撮影
第3回	トレンドメイク①　写真撮影
第4回	トレンドメイク②　写真撮影
第5回	アップスタイル①　写真撮影
第6回	アップスタイル②　写真撮影
第7回	ファンデーション上級編① ハイライト、ローライト、コンシーラーの使い方、写真撮影
第8回	ファンデーション上級編②　外国人の顔になってみる、写真撮影
第9回	ゴージャス、クール、ガーリーイメージ別、時代別メイク①　写真撮影
第10回	ゴージャス、クール、ガーリーイメージ別、時代別メイク②　写真撮影
第11回	ケサランパサランメイクコンテストのデザイン案出し、材料決め①
第12回	ケサランパサランメイクコンテストのデザイン案出し、材料決め②
第13回	ケサランパサランメイクコンテスト写真撮影①
第14回	ケサランパサランメイクコンテスト写真撮影②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　スタイリストプラン

科目名	ヘア・メイク2-2	担当	吉田桂子		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

ヘアメイクのデザイン力を高めるための講義、演習を行い、作品を写真撮影する。ヘアメイクの応用的な知識と技術を身につけ、ヘアスタイルがまとめられる力と、イメージメイクができる力を養う。作品の写真撮影をし、ポートフォリオを作成する。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的に情報を収集し、ヘアメイクの知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

撮影アシスタント、ヘアメイクアップアーティストの経験を活かし、実践的な実習授業を行う。

授業内容

第1回	接客授業①　サロンワークでのカウンセリング
第2回	接客授業②　サロンワークでのヘア・メイク仕上げ
第3回	ハロウィンメイク①　傷メイク、骸骨、ポイントメイクなど
第4回	ハロウィンメイク②　キャラクターメイク、衣装の準備のアナウンス
第5回	動物メイク、老人メイク①
第6回	動物メイク、老人メイク②
第7回	キャラクターメイク①　ヘア・メイク
第8回	キャラクターメイク②　衣装着替え、撮影
第9回	メイクとウィッグアレンジ①　パーソナルカラーでメイク
第10回	メイクとウィッグアレンジ②　パーソナルカラー、ヘアアレンジ
第11回	メイクとウィッグアレンジ③　ブライダルメイク
第12回	メイクとウィッグアレンジ④　ブライダル、カクテルヘアアレンジ
第13回	セレモニーヘアメイク①　卒業式、袴、パーティー
第14回	セレモニーヘアメイク②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　スタイリストプラン・ベーシックプラン

科目名	リテール演習S2	担当	河口清香		
科目分類	実習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

ファッションアドバイザーとして、店舗の即戦力となるように基本的な知識と技術を、ロールプレイングを交えて学習する。ファッションアドバイザーやバイヤーなど、アパレル小売関連業に就職後の実務に対応できるような即戦力を身に付ける。

時間外に必要な学修

授業以外にも積極的にショップリサーチなどに出かけ、ファッションに関する知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、店舗管理経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	ビジネスシーンでの基本動作、みだしなみ、立ち振る舞い 敬語、接客用語の使い方
第2回	春夏商品素材コメント練習①
第3回	春夏商品素材コメント練習②
第4回	春夏商品ディティールコメント練習①
第5回	春夏商品ディティールコメント練習②
第6回	春夏商品コーディネートボディ作成とコメント練習①
第7回	春夏商品コーディネートボディ作成とコメント練習②
第8回	接客ロールプレイング「入店からお買い上げまで」流れの理解①
第9回	接客ロールプレイング「入店からお買い上げまで」流れの理解②
第10回	接客ロールプレイング「入店から試着室まで」演習①
第11回	接客ロールプレイング「入店から試着室まで」演習②
第12回	接客ロールプレイング「試着室からお買い上げまで」演習①
第13回	接客ロールプレイング「試着室からお買い上げまで」演習②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　70% 期末試験　30%	

ファッション流通科　スタイリストプラン・ベーシックプラン

科目名	服飾手芸1 （アクセサリー・リメイク）	担当	奥村美智子・祖父江佳子		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	2単位 （52時間）

授業概要と到達目標

コレクション情報誌などを参考に、自由な発想で手芸的な技法を用いた作品を制作する。衣服と装飾ディティールやアクセサリー・雑貨のコーディネートバランスを学び、魅力的なコーディネート提案ができるようにする。

時間外に必要な学修

日頃から、店頭やメディアなどに目を配り、目新しいデザイン、興味のあるデザインなどの情報を収集する。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。／縫製企業でのソーイング経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	布帛とパーツを使用したアクセサリー①　授業説明
第2回	布帛とパーツを使用したアクセサリー②　テクニック練習
第3回	布帛とパーツを使用したアクセサリー③　テクニック練習
第4回	布帛とパーツを使用したアクセサリー④　デザイン出し
第5回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑤　パーツ製作
第6回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑥　パーツ製作
第7回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑦　製作
第8回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑧　製作
第9回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑨　製作
第10回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑩　製作
第11回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑪　製作
第12回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑫　製作
第13回	布帛とパーツを使用したアクセサリー⑬　仕上げ、提出
第14回	Tシャツリメイク①　授業説明、サイズ、色選択、デザイン出し
第15回	Tシャツリメイク②　副資材準備、裁断
第16回	Tシャツリメイク③　縫製
第17回	Tシャツリメイク④　縫製
第18回	Tシャツリメイク⑤　縫製
第19回	Tシャツリメイク⑥　仕上げ、提出
第20回	デニムリメイク①　授業説明、デザイン出し
第21回	デニムリメイク②　素材用意、縫製
第22回	デニムリメイク③　縫製
第23回	デニムリメイク④　縫製
第24回	デニムリメイク⑤　縫製
第25回	デニムリメイク⑥　縫製
第26回	デニムリメイク⑦　仕上げ、提出

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ベーシックプラン

科目名	服飾手芸2 （皮革・ビーズ・帽子）	担当	奥村美智子		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	2単位 （56時間）

授業概要と到達目標

コレクション情報誌などを参考に、自由な発想で手芸的な技法を用いた作品を制作する。衣服と装飾ディティールやアクセサリー・雑貨のコーディネートバランスを学び、魅力的なコーディネート提案ができるようにする。

時間外に必要な学修

日頃から、店頭やメディアなどに目を配り、目新しいデザイン、興味のあるデザインなどの情報を収集する。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業でのデザイナー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	授業説明、手芸テクニックを知る　ビーズ、皮革、編み物について
第2回	手芸テクニック①　ビーズ使いを学ぶ
第3回	手芸テクニック②　ビーズ使いを学ぶ
第4回	手芸テクニック③　皮革の取り扱いを学ぶ
第5回	手芸テクニック④　皮革の取り扱いを学ぶ
第6回	手芸テクニック⑤　編地、モチーフ作りを学ぶ
第7回	手芸テクニック⑥　編地、モチーフ作りを学ぶ
第8回	手芸テクニック⑦　編地、モチーフ作りを学ぶ
第9回	手芸作品デザイン考案①　帽子、アクセサリーなど作りたい小物2点選び学んだテクニックを入れてデザインを考える
第10回	手芸作品デザイン考案②　帽子、アクセサリーなど作りたい小物2点選び学んだテクニックを入れてデザインを考える
第11回	作品制作①　デザインした作品1点目を制作
第12回	作品制作②　デザインした作品1点目を制作
第13回	作品制作③　デザインした作品1点目を制作
第14回	作品制作④　デザインした作品1点目を制作
第15回	作品制作⑤　デザインした作品1点目を制作
第16回	作品制作⑥　作品仕上げ、提出
第17回	作品制作⑦　作品撮影
第18回	作品制作①　デザインした作品2点目を制作
第19回	作品制作②　デザインした作品2点目を制作
第20回	作品制作③　デザインした作品2点目を制作
第21回	作品制作④　デザインした作品2点目を制作
第22回	作品制作⑤　デザインした作品2点目を制作
第23回	作品制作⑥　作品仕上げ、提出
第24回	作品制作⑦　作品撮影
第25回	ファイル制作①　制作した作品をファイルにまとめる
第26回	ファイル制作②　制作した作品をファイルにまとめる

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	リテール演習2-3	担当	岩田佳子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標
販売実務経験の講師により、アパレル小売関連業に関する講義と演習、プレゼンテーションや商品計画の作成を行う。ファッションアドバイザーとして、店舗の即戦力となるように1日の流れ、基本的なマナーから応用的な接客、店舗運営の技術を身に付ける。
時間外に必要な学修
授業内以外にもあらゆる店舗のリサーチ、お客様動向に興味を持ち情報を収集することが望ましい。
実務経験を生かした教育内容
アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	自己PR①　自己分析、アピールポイントまとめ
第2回	自己PR②　自由な形式で自己PR作成
第3回	自己PR③　自由な形式で自己PR作成
第4回	自己PR④　自己PR発表
第5回	面接、ディスカッション①　グループ面接（研修）での心構え、模擬体験
第6回	面接、ディスカッション②　グループ面接（研修）での心構え、模擬体験
第7回	店頭における1日の流れ①
	店舗での1日の流れ、OPEN～CLOSEまでに必要な知識
第8回	店舗における1日の流れ②　1日のワークスケジュールを作成
第9回	個人情報の取り扱いについて①　お客様の情報の管理、取り扱いについて
第10回	個人情報の取り扱いについて②　顧客管理、活用方法
第11回	電話応対基礎①　電話応対の基礎
第12回	電話応対基礎②　電話応対、ロールプレイング
第13回	電話応対基礎③、メール対応　電話応対クレーム対応、メール対応
第14回	確認小テスト

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	リテール演習2-2	担当	ココスリー		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

アパレル面接官経験の講師により、就職活動時必要なスキルの講義と演習、就職後にも役立つ自己表現力を身に付けるロールプレイングの実施を行う。自身の良さを正確にアピールして、希望の就職先の内定をもらう。また、就職後も即戦力となれる様、提案力とチームビルディングのスキルも習得する。

時間外に必要な学修

一般常識、時事ネタなどに気を配り、幅広い年齢の方と交流をし、知識の幅を広げる努力をすることが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	自己表現力UP① 採用面談のイメージを掴む、自己表現力の必要性についての理解
第2回	自己表現力UP②　採用面談のイメージを掴む、自己表現力の必要性についてトレーニング、自己PRの撮影
第3回	自己表現力UP③　自己PR撮影により課題の抽出、ディスカッション
第4回	自己表現力UP④　自己PR再作成、個人カルテの作成
第5回	面接実践、改善点レクチャー グループ行動力について
第6回	グループディスカッション実践、改善点ディスカッション
第7回	グループ面談①　グループ毎での個人面談、レクチャー、自己PR再編①
第8回	グループ面談②　グループ毎での個人面談、レクチャー、自己PR再編②
第9回	リモート面談実践①　リモート面談について、実践
第10回	リモート面談実践②　リモート面談実践、フィードバック
第11回	振り返り、個々の面談スキルアップ①　授業での振り返り、個別面談
第12回	個々の面談スキルアップ②　個別面談実践
第13回	グループディスカッションアドバンス　グループディスカッション実践（総括）
第14回	個人カルテ最終仕上げ　個人面談、Q&A実践

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント等	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	リテール演習2-1	担当	岩田佳子		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （52時間）

授業概要と到達目標

アパレル業界のシーズンサイクルを理解し、シーズンの販促計画、商品計画を学び、リテール教室内の教材をもとにバイイングを行う。店頭商品展開の目的、意図を把握し、販売時その意図を踏まえ店頭商品のアピールをVMD、セールストーク等の応対によりお客様に伝えるスキルを習得する。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的にショップリサーチなどに出かけ、リテールの現場の知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	シーズン企画基礎①　マーケティングについて
第2回	シーズン企画基礎②　マーケティング（情報収集、SWOT分析）
第3回	シーズン企画基礎③　シーズンサイクルの理解
第4回	シーズン企画基礎④　シーズンサイクルと店頭の相互性の理解
第5回	シーズン企画立案①　シーズンの予測、情報収集（トレンド等）
第6回	シーズン企画立案②　シーズンマップの作成（販促）
第7回	シーズン企画立案③　シーズンマップの作成（販促）
第8回	シーズン企画立案④　シーズンマップの作成（商品）
第9回	シーズン企画立案⑤　シーズンマップの作成（商品）
第10回	シーズン企画立案⑥　シーズンマップの作成（商品）
第11回	シーズン企画立案⑦販促ツール作成① シーズンマップの作成（商品）、店頭展開位置設定、販促ツール
第12回	シーズン企画立案⑧販促ツール作成② シーズンマップの作成（商品）、店頭展開位置設定、販促ツール
第13回	店舗企画①　店舗企画書の作成の基礎
第14回	店舗企画②　店舗企画書の作成の基礎
第15回	バイイング計画作成①　店舗企画書に基づいたバイイングリストアップ
第16回	バイイング計画作成②　店舗企画書に基づいたバイイングリストアップ
第17回	店頭リサーチ①　バイイングリストアップに基づき店頭リサーチ
第18回	店頭リサーチ②　バイイングリストアップに基づき店頭リサーチ
第19回	バイイング計画プレゼンテーション①　プレゼンテーション発表、バイイング商品決定
第20回	バイイング計画プレゼンテーション②　プレゼンテーション発表、バイイング商品決定
第21回	バイイング商品買い付け①　商品の買い付け
第22回	バイイング商品買い付け②　商品の買い付け、商品登録
第23回	店舗企画まとめ①　まとめプレゼンテーション準備
第24回	店舗企画まとめ②　まとめプレゼンテーション準備
第25回	店舗企画発表①　まとめプレゼンテーション発表
第26回	店舗企画まとめ②　まとめプレゼンテーション発表

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	リテール演習2-4	担当	ココスリー		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

アパレルショップ販売経験の講師により、購買心理に基づいたお客様へのアプローチ手法、また会いたいと思っていただけるおもてなし応対の講義と演習。お客様に寄り沿った会話力、提案力の学習により、お客様の印象に残る接客販売（応対）の習得

時間外に必要な学修

ショップに出向き、実店舗にて多くの接客（応対）を受け経験値を積むことが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	動的待機～お見送り（再来店促進）①　1年次の振り返りと演習①
第2回	動的待機～お見送り（再来店促進）②　1年次の振り返りと演習②
第3回	店頭VMDの編集①　人気商品欠品時の店頭VMD編集方法実技
第4回	店頭VMDの編集②　新規商品入荷時の店頭VMD編集方法実技
第5回	再来店の促し～リピーター獲得①　SNS、メール、電話等での再来店の促し、リピーター獲得手法と実演（顧客様獲得）①
第6回	再来店の促し～リピーター獲得②　SNS、メール、電話等での再来店の促し、リピーター獲得手法と実演（顧客様獲得）②
第7回	ロールプレイング実技（グループ）① ロールプレイング、グループ毎でのトレーニング、フィードバック①
第8回	ロールプレイング実技（グループ）② ロールプレイング、グループ毎でのトレーニング、フィードバック②
第9回	ロールプレイング実技（グループ）③ ロールプレイング、グループ毎でのトレーニング、フィードバック③
第10回	ロールプレイング実技（グループ）④ ロールプレイング、グループ毎でのトレーニング、フィードバック④
第11回	ロールプレイング実践①　個々の課題の改善、全体でのロールプレイング①
第12回	ロールプレイング実践②　個々の課題の改善、全体でのロールプレイング②
第13回	ロールプレイング大会①　全体でのロールプレイング大会①
第14回	ロールプレイング大会②　全体でのロールプレイング大会②

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント等	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	リテール演習2-5	担当	ココスリー		
科目分類	演習	開講時期	2年後期	単位数 （時間数）	2単位 （60時間）

授業概要と到達目標
ファッション販売検定2級の受験に向け、検定対策の講義と実技（お直しのロールプレイングなど）。ファッション販売検定2級の受験の知識を習得、合格を目指す。
時間外に必要な学修
教本の予習復習、自身の強みと弱みを把握し、課題克服に取り組む努力が望まれる。
実務経験を生かした教育内容
アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容	
第1回	ファッション検定3級の振り返り①　小売業としてのホスピタリティ精神の発揮
第2回	ファッション検定3級の振り返り②　企業倫理とコンプライアンス
第3回	ファッション検定3級の振り返り③　小テスト、職場におけるコミュニケーション
第4回	ファッション検定3級の振り返り④　クレーム対応
第5回	ファッション検定3級の振り返りと実技① 小テスト、売場作り、商品陳列、商品管理①
第6回	ファッション検定3級の振り返りと実技②　売場作り、商品陳列、商品管理②
第7回	ファッション検定3級の振り返りと実技③ 小テスト、レディス・メンズファッション商品知識の習得①
第8回	ファッション検定3級の振り返りと実技④ レディス・メンズファッション商品知識の習得②
第9回	ファッション検定3級の振り返りと実技⑤　小テスト、フィッティング（お直し等）①
第10回	ファッション検定3級の振り返りと実技⑥　フィッティング（お直し等）②
第11回	実力試験（検定3級内容）　試験、自己採点
第12回	実力試験解説と分析　強み弱みを知り、傾向と対策をまとめ試験対策につなげる

授業内容	
第13回	ファッション検定2級の学習①　ファッション販売知識
第14回	ファッション検定2級の学習②　ファッション販売知識
第15回	ファッション検定2級の学習③　小テスト、マーケティングの理解①
第16回	ファッション検定2級の学習④　マーケティングの理解②
第17回	ファッション検定2級の振り返りと実技①　マーケティング実践にて学習①
第18回	ファッション検定2級の振り返りと実技②　マーケティング実践にて学習②
第19回	ファッション検定2級の振り返りと実技③　小テスト、店舗運営管理の理解①
第20回	ファッション検定2級の振り返りと実技④　店舗運営管理の理解②
第21回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑤　店舗運営管理実践にて学習①
第22回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑥　店舗運営管理実践にて学習②
第23回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑦ 小テスト、店頭VMDの知識、売場作り①
第24回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑧　店頭VMDの知識、売場作り②
第25回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑨　ファッション商品知識①
第26回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑩　ファッション商品知識②
第27回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑪　項目総合の振り返り①
第28回	ファッション検定2級の振り返りと実技⑫　項目総合の振り返り②
第29回	実力試験（検定2級内容）　試験、自己採点
第30回	実力試験解説と分析　強み弱みを知り、傾向と対策をまとめ試験対策につなげる

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
ファッション販売検定3級、2級教科書	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	VMD	担当	山内玲子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （28時間）

授業概要と到達目標

検定の要項に沿い、実際の検定試験内容と同じ内容の商品展示を実技練習する。国家試験「商品装飾展示」技能検定3級を目指し、商品のプレゼンテーションに必要な、技術と技能、知識を身につける事を目的とする。

時間外に必要な学修

検定に向けて自宅で過去問題などに取り組むことが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

ディスプレイデコレーターとしての経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	商品装飾展示技能について①
	商品装飾展示の基礎知識、過去問題（採点と解説）
第2回	商品装飾展示技能について②
	商品装飾展示の基礎知識、過去問題（採点と解説）
第3回	商品装飾展示技能について③
	商品装飾展示の基礎知識、過去問題（採点と解説）
第4回	商品装飾展示技能について④
	商品装飾展示の基礎知識、過去問題（採点と解説）
第5回	技能の習得①　道具、材料の準備、商品装飾展示の基本技法
第6回	技能の習得②　道具、材料の準備、商品装飾展示の基本技法
第7回	実技試験問題練習①　公表された実技問題を練習
第8回	実技試験問題練習②　公表された実技問題を練習
第9回	実技試験問題練習③　公表された実技問題を練習
第10回	実技試験問題練習④　公表された実技問題を練習
第11回	実技試験問題練習⑤　公表された実技問題を練習
第12回	実技試験問題練習⑥　公表された実技問題を練習
第13回	試験形式練習①　実技試験
第14回	試験形式練習②　実技試験、採点及び苦手克服練習

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
商品装飾展示技能検定ガイドブック改訂版	出席率　40% 課題・レポート　30% 期末試験　30%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	ショッププランニング2	担当	岩田佳子		
科目分類	演習	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

ショップ運営に必要な計数管理の基礎を学び、平行して店舗シュミレーションソフト「ヴィジュアルマーチャンダイザー（VMD）」の基本操作を習得する。就職活動に備え名古屋の商圏を把握し、それぞれの目指す職種について具体的な業務内容を理解する。

時間外に必要な学修

授業内以外にも積極的にショップリサーチなどに出かけ、リテールの現場の知識の幅を増やすよう努力することが望ましい。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、ブランドマネージャー経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	店舗予算、経費の理解とシフト作成①　店舗利益最大化のための予算と経費の理解
第2回	店舗予算、経費の理解とシフト作成②　経費を理解した上でのシフト作成
第3回	店舗予算、経費の理解とシフト作成まとめ　経費の理解小テスト、シフト提出
第4回	店舗管理表作成、完成　1年次作成店舗管理表の精度アップ、仕上げ
第5回	パワーポイントにてプレゼンテーション制作① ショップシュミレーションの意図のまとめ発表用プレゼンテーションの制作
第6回	パワーポイントにてプレゼンテーション制作② ショップシュミレーションの意図のまとめ発表用プレゼンテーションの制作
第7回	パワーポイントにてプレゼンテーション制作③ ショップシュミレーションの意図のまとめ発表用プレゼンテーションの制作
第8回	パワーポイントにてプレゼンテーション制作④ ショップシュミレーションの意図のまとめ発表用プレゼンテーションの制作
第9回	パワーポイントにてプレゼンテーション制作⑤ ショップシュミレーションの意図のまとめ発表用プレゼンテーションの制作
第10回	パワーポイントにてプレゼンテーション制作⑥ ショップシュミレーションの意図のまとめ発表用プレゼンテーションの制作
第11回	パワーポイント提出、プレゼン準備　プレゼンテーション提出、準備
第12回	プレゼンテーションテスト①　プレゼンテーション発表
第13回	プレゼンテーションテスト②　プレゼンテーション発表

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
プリント	出席率　50% 課題・レポート　50%	

ファッション流通科　ファッションビジネスプラン

科目名	接客販売検定2	担当	早川満知子		
科目分類	講義	開講時期	2年前期	単位数 （時間数）	1単位 （26時間）

授業概要と到達目標

講義と模試により授業を行う。国家資格・接客販売技能検定の取得を目指す。

時間外に必要な学修

各単元の内容を自宅学習し検定に備えること。

実務経験を生かした教育内容

アパレル企業での販売、店舗管理経験を活かし、実践的な演習授業を行う。

授業内容

第1回	服の構造検品　服のコーディネート
第2回	体のサイズ、フィッティング①
第3回	体のサイズ、フィッティング②
第4回	接客販売①
第5回	接客販売②
第6回	接客販売③
第7回	クレーム、トラブル対応①
第8回	クレーム、トラブル対応②
第9回	お直しの技術①
第10回	お直しの技術②
第11回	全体の復習と解説
第12回	学科まとめ
第13回	実技まとめ

教科書教材	評価基準と評価率	その他特記事項
国家資格・接客販売技能検定対策講座	出席率　50% 課題・レポート　50%	